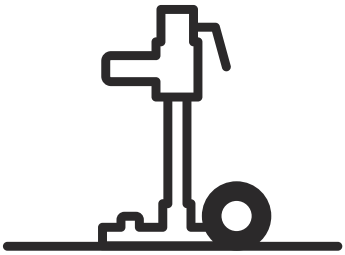


Husqvarna®



DS 500, DS 500 EX

JA	取扱説明書	2-14
KO	사용자 설명서	15-26
ZH	操作手册	27-37

目次

はじめに..... 2
安全性..... 3
組み立て..... 6
Installation（設置）..... 7
動作..... 10
メンテナンス..... 10
搬送と保管..... 12
主要諸元..... 13
サービス..... 13
適合宣言..... 14

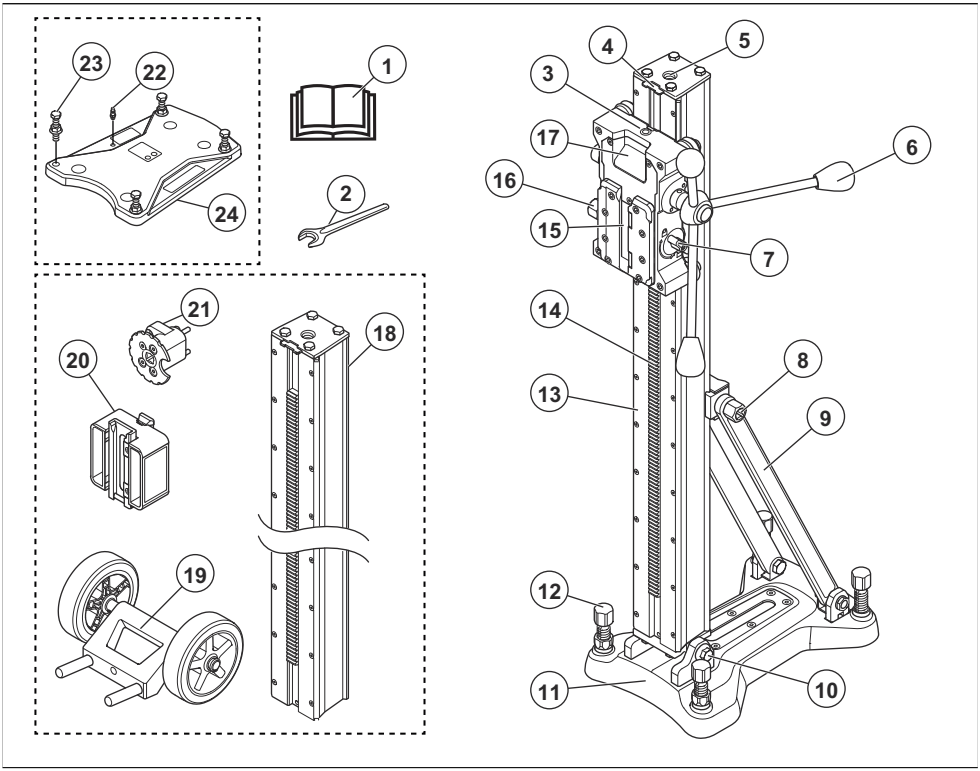
はじめに

製品の説明

本製品は、Husqvarna コアドリル用ドリルスタンドです。

- 本ドリルスタンドは、天井、壁面、床面の穿孔に使用します。
- 安定性があり、最大直径 500 mm の穿孔に使用できます。
- コラムは 0～90° の範囲で傾斜させることができます。
- 本ドリルスタンドには、コアドリル用クイックマウントプレートが付属しています。
- フィードレバーを使用してコラム角度を設定し、クイックマウントをロックできます。
- 本ドリルスタンドには、長さ 2 m のコラム（アクセサリー）を使用できます。

製品の概要



1. 取扱説明書
2. レンチ、24~32 mm

3. レベルインジケータ
4. エンドストップ
5. ジャックネジ（別売り）ホール
6. 保持面絶縁済みフィードレバー
7. キャリッジロック
8. ロックネジ、コラム角度調節用
9. サポート
10. ヒンジブラケット
11. ボトムプレート
12. レベル調整ネジ
13. ドリルコラム
14. ギアラック
15. ロッククランプ、クイックマウント用
16. ロックネジ、ロッククランプ用
17. キャリッジ
18. ドリルコラム 2 m（別売り）
19. 搬送用ホイール（別売り）
20. アダプター、クイックスペーサー（別売り）用
21. AD ブラケット（別売り）
22. 真空ポンプの接続部
23. レベル調整ネジ
24. ガスケット、ボトム真空吸引用

製品に表記されるシンボルマーク



警告 : 本製品の使用は危険を伴います。操作者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。十分に注意し、本製品を正しく使用してください。



本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。



認可されたイヤマフを使用してください。

注記： 本製品に付いている他のシンボル／ステッカーはそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

製品の損傷

以下の場合、Husqvarna は製品の損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤った方法で修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリー、またはメーカーの認可していないアクセサリーを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定販売店で本製品が修理されていない場合。

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

いつも常識のある取り扱いを



警告： いかなる理由であれ、製造者の承認を得ずに本機の設計に変更を加えないでください。常に、純正のスペアパーツを使用してください。承認を受けていない修正と付属品の使用、あるいはそのいずれかは、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害をもたらすことがあります。

ドリル製品をご使用の際に起こり得る状況をすべて説明することは不可能です。常に注意を払い、常識に適った使用方法で操作してください。使用者の能力範囲外であると思われる場合は、操作を行わないでください。これらの注意事項を読んだ後でも、不明点などがある場合は、使用を続けずに専門コンサルタントにご相談ください。

本機の使用方法についてご質問があるときはお気軽に代理店までご連絡ください。お持ちの本機を効率良くまた安全に使用する場合に役立つ方法やアドバイスを提供いたします。

Husqvarna 販売店にドリル製品の定期検査を依頼し、必要な調整や修理を行ってください。

取扱説明書のあらゆる情報およびデータは、本書の印刷時に有効であったものです。

操作時の安全注意事項

警告： 本取扱説明書に記載されている安全上の警告、指示、図、仕様をすべてお読みください。以下のすべての指示に従わないと、感電、火災、重傷の原因となるおそれがあります。 すべての警告や指示は、いつでも参照できるように保管してください。

警告： 可動部のある製品を使用する作業では、常に負傷するおそれがあります。怪我を防ぐために保護グローブを着用してください。

- プロテクティブ装具を着用してください。必ず視覚保護具を着用してください。状況に応じて、防塵マスク、滑り止め付きの安全靴、ヘルメット、イヤマフなどのプロテクティブ装具を着用することで、怪我の危険性を低減できます。
- パワーツールの操作中は、子供や付近の人から十分な距離を保ってください。注意力が散漫になると、制御を失うおそれがあります。
- 作業開始前に、作業エリアから不要なものをすべて取り除き、十分な照明を確保してください。作業エリアが散らかり、照明が確保されていないと、事故の危険性が高まります。
- 引火性の液体、ガス、粉塵などが存在する爆発性雰囲気の中でパワーツールを使用しないでください。パワーツールによって火花が発生し、粉塵やガスに引火するおそれがあります。
- 人や動物が突然飛び出すと、本製品を制御できなくなるおそれがあります。突然の状況に備え、常に注意を払い、作業に集中してください。
- 霧、雨、強風、極寒などの悪天候下で本製品を使用しないでください。悪天候により、足場が滑りやすくなるなどの危険な状態が発生するおそれがあります。
- 本製品を使用する前に、作業エリアを点検してください。突然動いたり、危害を及ぼしたりするおそれのある障害物に注意してください。作業中に緩んで落下したり、怪我を誘発したりする物がないことを確認してください。
- 穿孔後は、必ず施工面の裏側を点検してください。該当箇所に印をつけ、安全を確保してください。人身事故や物損事故が発生しないよう、十分に注意してください。
- パワーツールの操作中は、注意を怠ることなく作業に集中し、常識に従ってください。疲労時や、薬物、アルコール、医薬品の影響下でパワーツールを使用しないでください。パワーツールの操作中は、わずかな不注意が重傷につながるおそれがあります。
- 誤始動を防止してください。パワーツールを電源やバッテリーパックに接続する際や、パワーツールを持ち上げたり動かしたりする際は、スイッチがオフ位置であることを確認してください。スイッチに指を置いたままパワーツールを動かしたり、スイッチがオンの状態でパワーツールに通電すると、事故が発生するおそれがあります
- 本製品によって物が飛散し、作業者が怪我をするおそれがあります。本製品を始動する前に、調整キーとレンチを取り外してください。
- 頻繁なツールの使用により慣れや油断が生じ、ツールの安全原則を軽視したり無視したりすることがないよう注意してください。不注意な行動が、直ちに重傷につながるおそれがあります。
- 本製品を使用するすべての作業者は、本取扱説明書を読み、内容を理解してください。
- 適切な衣服を着用してください。ゆったりした衣服や装身具を着用しないでください。可動部に髪の毛や衣服を近づけないでください。ゆったりした衣服、装身具、長髪は、可動部に絡まるおそれがあります。
- コアドリルを壁面、天井、床面から引き抜く際は、必ずドリルビットからコンクリートコアを取り除いてください。コアドリルを床面や壁面から引き抜く際にドリルビット内にコンクリートコアが残っていると、危険な事故が発生するおそれがあります。
- モーターの回転中は、ドリルビットから距離を保ってください。
- 作業エリアに配管や電気ケーブルがないことを確認してください。
- モーターの回転中に本製品から離れないでください。
- 無理な姿勢で作業しないでください。常に安定した足場とバランスを確保してください。これにより、想定外の事態が発生してもパワーツールを安全に制御できます。
- 本製品を使用する際は、必ず作業者の近くにもう 1 名、人員を配置してください。これは、事故発生時に必要に応じて作業者を支援するためです。
- 安全装置に不具合がある場合は、本製品を使用しないでください。
- 本取扱説明書の説明に従って、安全点検、メンテナンス、整備作業を行ってください。一部のメンテナンスや整備作業は、認定サービス代理店のみが実施する必要があります。*本製品の安全装置 5 ページ*を参照してください。
- 点検やメンテナンスは、モーターを停止し、電源コンセントからプラグを抜いた状態で行う必要があります。
- 工場出荷時の仕様から変更された製品を使用しないでください。
- 調整、アクセサリーの変更、パワーツールの保管を行なう前に、電源コンセントからプラグを抜き、および／またはパワーツールからバッテリーパックを取り外してください。これらの予防的安全対策を行うことで、パワーツールの誤始動の危険性が低下します。
- ハンドルや把持面は、乾燥し、オイルやグリースの付着がない清潔な状態に保ってください。ハンドルや把持面を滑りやすい状態にしないでください。
- 本製品に過剰な負荷をかけないでください。過負荷状態になると、損傷するおそれがあります。

- すべての部品を良好な状態に保ち、すべての固定具を適切に締めつけてください。

使用者の身体保護具

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品を操作するときは常に、適切なプロテクティブ装具を使用してください。身体保護具を使用しても、負傷の危険性はなくなりません。身体保護具を使用すると、事故が発生した場合に負傷の程度が軽減されます。適切な保護具の選択については、販売店にご相談ください。
- 本製品を操作するときは、認可された防護メガネを使用してください。
- つま先部がスチール製の丈夫で滑りにくいブーツを着用してください。
- ぴったりとした、ただし動きを制限しない服を着用してください。
- 定期的に身体保護具の状態を確認してください。
- 認定済みの丈夫な保護手袋を着用してください。
- ゴム製の保護グローブを着用して、湿ったコンクリートによる皮膚炎を防止してください。
- 認可された保護ヘルメットを使用してください。
- 本製品を操作するときは必ず、認証されたイヤマフを使用してください。長時間の騒音によって聴力が低下するおそれがあります。
- 本製品は、健康に害のある粉塵や煙を発生させます。認定の呼吸器保護具を使用してください。
- 救急用具が近くにあることを確認してください。
- 本製品を操作するときに、火花が生じる場合があります。消火器が近くにあることを確認してください。
- ゆったりとした作業服や宝飾品など、可動部に絡まるおそれがあるものは身に着けないでください。安全のため、髪の毛は肩よりも上にまとめてください。

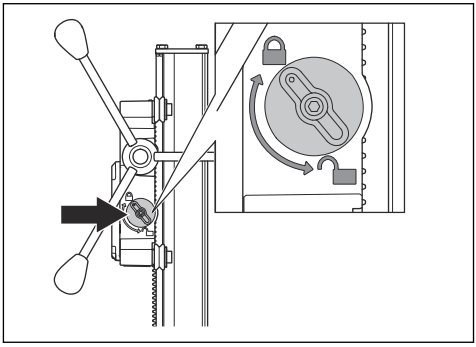
本製品の安全装置

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 損傷している、または正しく動作していない安全装置を取り付けた状態で、製品を使用しないでください。
- 安全装置は定期的に点検してください。安全装置が損傷している、または正しく動作していない場合は、Husqvarna サービス代理店にお問い合わせください。
- 安全装置は改造しないでください。

キャリッジロックの点検方法

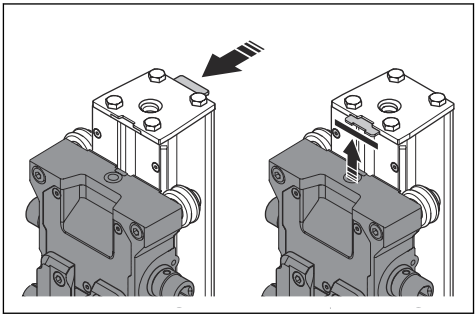
1. ノブを回してモーターキャリッジをロックします。



2. キャリッジがドリルコラムにロックされているか、手で触って 確認します。

ドリルコラムのエンドストップを点検する方法

1. ストッププレートを適切な位置まで押し込みます。



2. ドリルモーターキャリッジが、ストッププレートに触れると停止することを確認します。

メンテナンスのための安全注意事項

警告： 点検とメンテナンスは、モーターの電源を切り、電源を外した状態で行う必要があります。

- 本製品とアクセサリーのメンテナンスを行ってください。可動部品の誤調整や巻き付き、部品の破損、その他本製品の動作に影響する状況が発生していないことを確認します。破損している場合は、本製品を修理してから使用してください。
- 本製品の保守作業は、Husqvarna サービス代理店に依頼して、必ず同じ交換部品を使って行うようにしてください。

組み立て

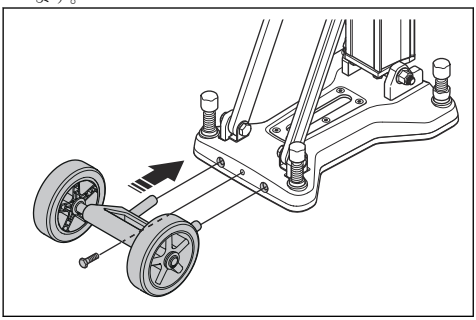
はじめに

このセクションでは、製品の組み立て方法と調整方法を説明します。

警告： 製品を組み立てる前に、安全に関する章と組み立て手順書をお読みください。

ホイールキット（別売り）の取り付け方法

1. ホイールキットをボトムプレートの背面に取り付けます。

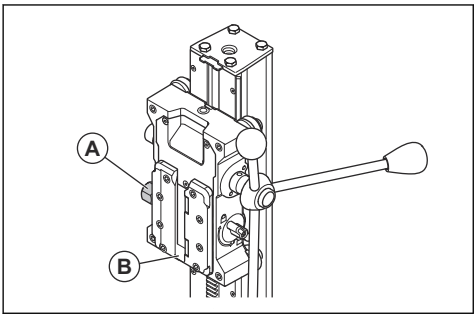


2. ネジを締め込みます。

ドリルモーターの取り付け方法

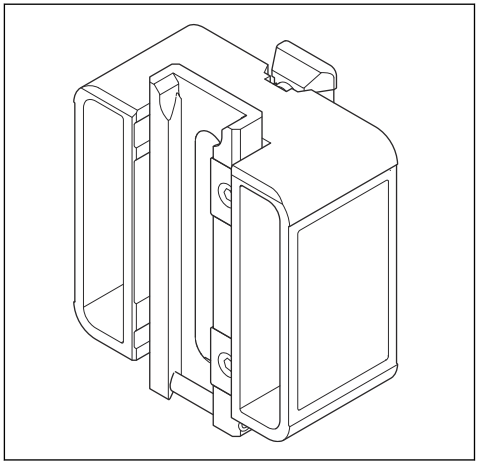
警告： 清掃、メンテナンス、あるいは組み立て前に、必ず電源コードをコンセントから抜くようにしてください。

1. ドリルモーターキャリッジ（A）のロックを解除します。
2. ドリルモーターキャリッジの溝（B）にドリルモーターを取り付けます。
3. ドリルモーターキャリッジ（A）をロックします。



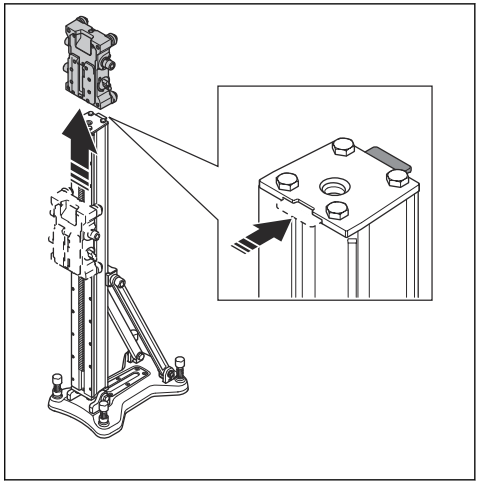
クイックスペーサー（別売り）

大口径の穴を開けるには、クイックスペーサーを使用します。クイックスペーサーの選択については、*最大ドリル径 13* ページを参照してください。クイックスペーサーをドリルモーターに取り付けてから、ドリルモーターをドリルスタンドに取り付けます。

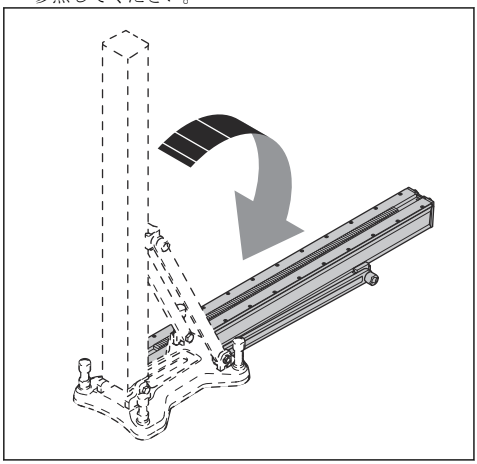


ドリルスタンドコラム（別売り）の交換方法

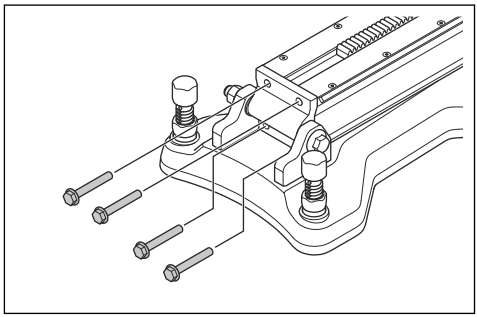
1. ストッププレートを押して開位置にします。ドリルモーターキャリッジをはずします。



2. ドリルスタンドコラムを後方いっぱいまで折りたたみます。*ドリルコラムの角度調整方法 10* ページを参照してください。



3. ヒンジブラケットからボルト 4 本を取り外します。



4. ドリルスタンドコラムを取り外します。
5. ドリルスタンドコラムを逆の手順で取り付けます。

Installation（設置）

取り付け手順

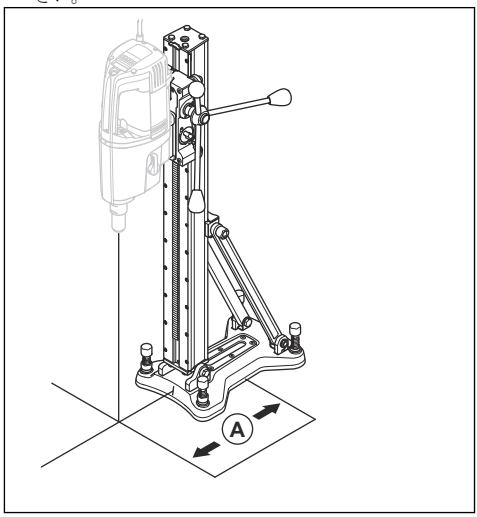
穿孔作業のために本製品を取り付ける方法は、次の 3 種類があります。

- エキスパンダボルトを使用。
- バキュームプレートを使用。
- 全ネジボルト、ワッシャー、ロックナットを使用。

エキスパンダボルトでドリルスタンドを取り付ける方法

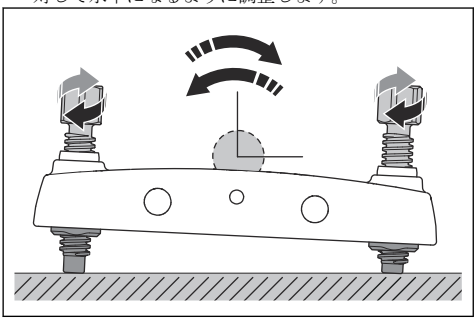
警告： 天井や壁面に穿孔する場合は、取り付け面に対して十分な引張強度の出るエキスパンダまたはアンカーを必ず使用してください。用途に適合するエキスパンダまたはアンカーを必ず使用してください。

1. エキスパンダボルト用の穴を開けます。*エキスパンダボルトの取り付け方法 8* ページを参照してください。穿孔箇所の中心から 335 mm（13.2 インチ）の距離（A）を測定します。クイックスペーサー（別売り）を使用する場合は、距離が異なります。*クイックスペーサー（別売り）6* ページを参照してください。



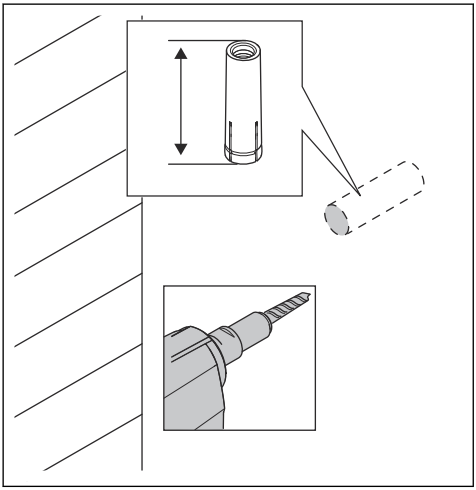
2. エキスパンダボルトを使用してドリルスタンドを取り付けます。
3. ドリルスタンドが適切に固定されていることを確認します。

4. 必要に応じて、ボトムプレートを調整します。レベル調整ネジを使用して、ボトムプレートが作業面に対して水平になるように調整します。

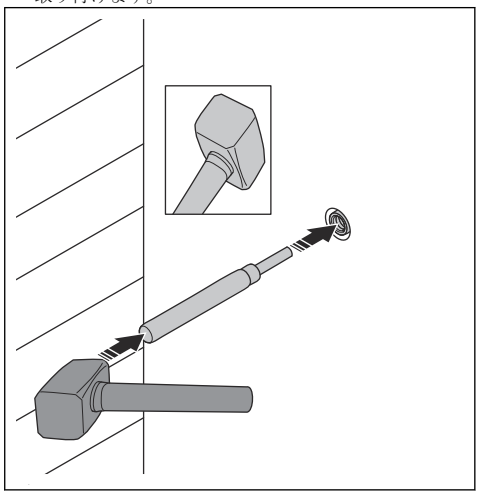


エキスパンダボルトの取り付け方法

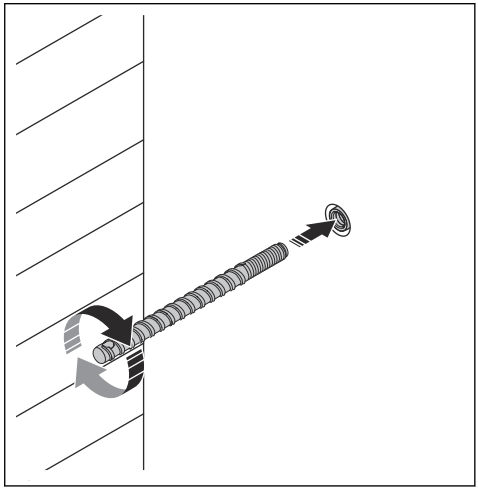
1. エキスパンダボルト用の穴を開けます。穴の深さが十分であることを確認してください。ソケットは作業面より下に配置する必要があります。



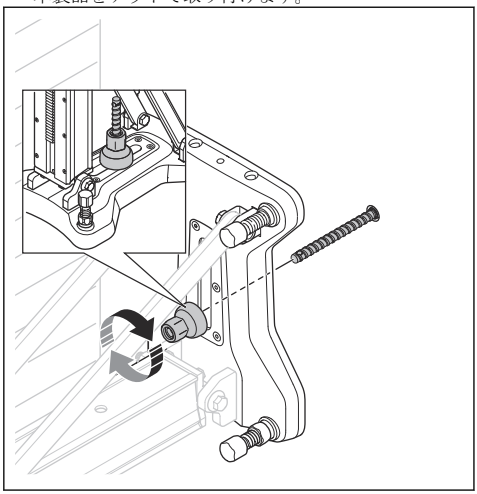
2. マンドレルとハンマーを使用して、エキスパンダを取り付けます。



3. アンカーネジを取り付けます。



4. 本製品をナットで取り付けます。



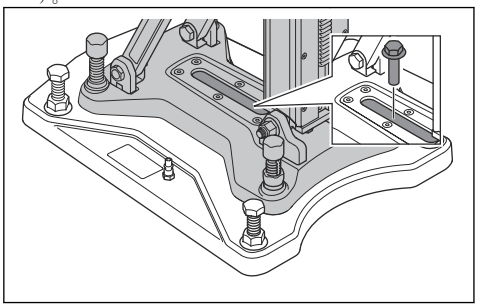
本製品と Husqvarna バキュームプレートの取り付け

警告： 壁や天井に穴を開ける際には、バキュームプレートと本製品を組み合わせて使用することはできません。

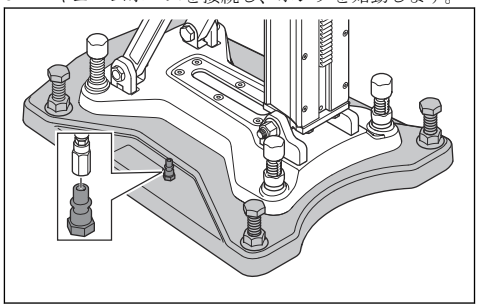
警告： 支持面は平らで、良質である必要があります。バキュームプレートが支持面に完全に密着していないと、本製品が緩む可能性があります。

警告： バキュームプレートは次の Husqvarna ドリルモーターとのみ組み合わせることをお勧めします。DM 220, DM 230, DM 280, DM 340, DM 400, DM 430。他のドリルモーターで使用すると、ドリルスタンドが緩む可能性があります。

1. バキュームプレートをボルトで本製品に取り付けます。



2. レベル調整ネジを緩めます。位置は、バキュームプレートの底部より上でなければなりません。
3. バキュームホースを接続し、ポンプを始動します。



注意： バキュームプレートを面にしっかりと密着させるには、-0.85 bar 以上の圧力が必要です。

4. ネジに圧力がかかるまで、レベルネジを締め込みます。

警告： バキュームプレートを使用するときは、水平調整ネジが表面に接触している必要があります。そうでない場合、バキュームプレートが緩む可能性があります。

ネジ山のあるロッドでドリルスタンドを取り付ける方法

エキスパンダボルトでドリルスタンドを壁または天井に取り付けることができない場合は、全貫通ロッドを使用します。ワッシャーとナットを使用して、全貫通ロッドを締め込みます。

動作

本製品を使用する前に

警告： 本製品は、コンクリート、れんが、各種石材への穿孔用に設計されています。他の用途には使用しないでください。

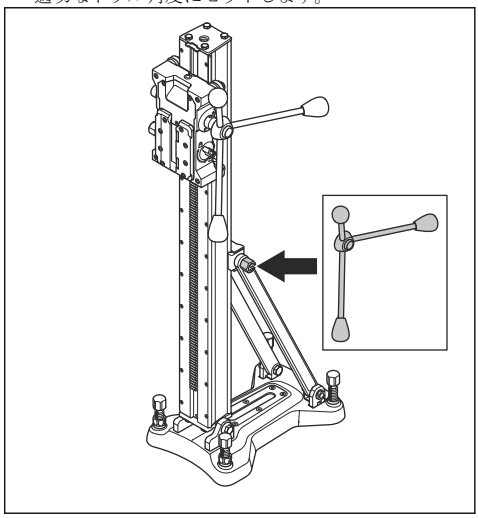
警告： 穿孔前に、すべてのロックネジがしっかりと締めつけられていることを確認してください。コアドリル／ドリルを床面、壁面、天井から引き抜く際にドリルビット内にコンクリートコアが残っていると、重傷を負うおそれがあります。

警告： 天井に穿孔する際は、必ずお使いのコアドリル用の認証済み集水器を使用するか、油圧式コアドリルを使用してください。機器内に水が入ると、ドリル本体とスタンドが通電するおそれがあります。

- 本取扱説明書をよく読み、内容を十分に理解してください。
- 事故を防ぐために、作業エリアは清潔で明るい状態に保ってください。
- 日次のメンテナンスを行なってください。*ドリルスタンドの毎日のメンテナンス 10* ページを参照してください。
- プロテクティブ装具を着用してください。*使用者の身体保護具 5* ページを参照してください。

ドリルコラムの角度調整方法

1. ドリルコラムをロックしているロックネジを緩め、適切なドリル角度にセットします。



2. 角度インジケータを使用して、おおよその調整を行います。より高い精度が必要な場合は、別の方法で測定してください。
3. ドリルコラムのロックネジを締め込みます。フィードレバーを使います。ドリルコラムは、0～90° 傾けることができます。

メンテナンス

はじめに

警告： 本製品のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

警告： 怪我を防ぐため、メンテナンスを行う前に電源コードを抜いてください。

ドリルスタンドの毎日のメンテナンス

- ナットとネジが確実に締められていることを確認します。
- ドリルスタンドの外面を清掃します。
- フィードレバーが抵抗なく動くことを確認します。
- ギアがスムーズに動き、騒音が発生しないことを確認します。
- ドリルコラムに摩耗や損傷がないか点検します。
- ドリルモーターキャリッジがスムーズに動き、ドリルコラムに対して遊びがないことを確認します。

ドリルスタンドの清掃と潤滑方法

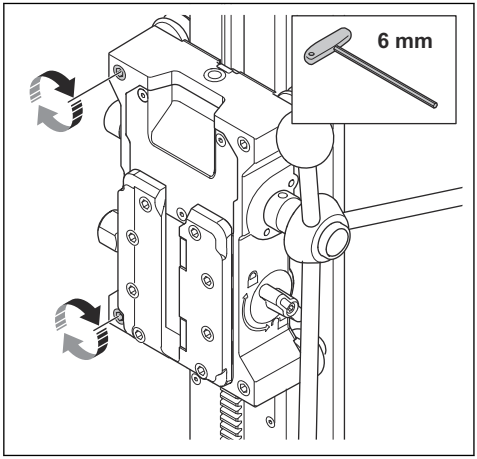
注意： ドリルスタンドを清掃しないと、損傷するおそれがあります。

1. ドリルモーターを外します。
2. 高圧洗浄機でドリルスタンドを清掃し、乾いた布で残った水滴を拭き取ります。
3. ドリルスタンドの可動部に注油します。腐食を防止するために、接触面にグリースを塗布します。

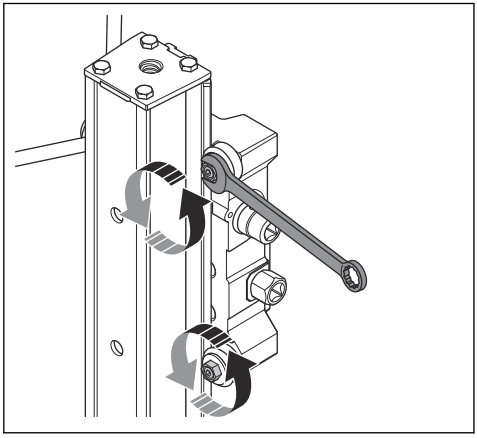
コアドリルキャリッジの調整方法

ドリルコラムとコアドリルキャリッジの間に遊びがある場合は、コアドリルキャリッジを調整する必要があります。

1. ローラーシャフトを保持するネジを緩めます。

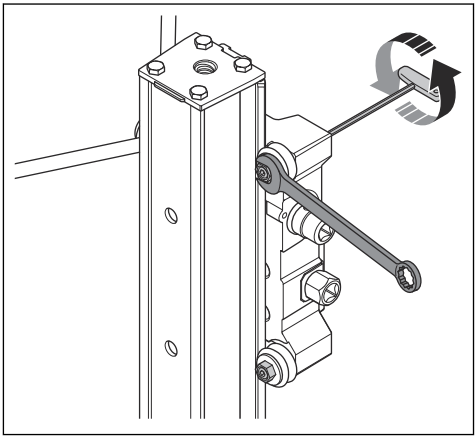


2. ローラーシャフトを調整します。ネジを反時計回りに回して、ガイドホイールをドリルコラムの方向に動かします。ガイドホイールがドリルコラムに接触するまで、ネジを回します。



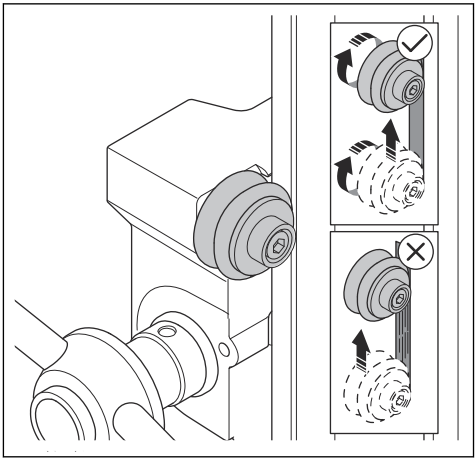
注記： ローラーシャフトを締めすぎないでください。コアドリルキャリッジがドリルコラム上でスムーズに動かせることを確認します。

3. レンチを使用して、ガイドホイールの位置を固定します。六角レンチを使用してネジを締め込み、ローラーシャフトをロックします。



注記： ローラーシャフトを締め込んだ後は、手では回転できず、フィードレバーでは回転可能な状態になっている必要があります。

4. フィードレバーを使用して、モーターキャリッジを上下に動かします。コアドリルキャリッジがドリルコラム上でスムーズに動くことを確認します。キャリッジがドリルコラム上を移動するときは、ローラーシャフトが回転する必要があります。必要に応じて、ローラーシャフトを再度調整します。



搬送と保管

- 搬送中は本製品を安全に接続して、損傷や事故を防止してください。
- 別売りの搬送用ホイールを使用することで、ドリルユニットを取り付けたままスタンドを搬送できます。
- 搬送用ホイールがない場合、総リフト重量は 25 kg を超えるため、ドリルユニットをスタンドから取り外して搬送する必要があります。
- 本製品は鍵のかかる場所に保管して、子供や許可を得ていない人が近づけないようにしてください。
- ドリル本体とスタンドは、湿気がなく霜の降りない場所に保管してください。

主要諸元

主要諸元

寸法	DS 500	DS 500 EX
高さ、mm／インチ	1,050/41.3	1,152/45.4
幅、mm／インチ	240/9.4	240/9.4
奥行、mm／インチ	394/15.5	394/15.5
質量、kg／ポンド	18.2/40.1	18.8/41.5
移動長、mm／インチ	706/27.8	785/30.9
最大荷重（ハンドル）、kg／ポンド	120/264.5	120/264.5
ドリルコラム角度	0～90º	0～90º

最大ドリル径

コアドリル	スペーサー、mm／インチ	
	スペーサーなし	50/2
DM 200	150/5.9	150/5.9
DM 210 SP	150/5.9	150/5.9
DM 280/340	370/14.6	470/18.5
DM 400	370/14.6	470/18.5
DM 430	370/14.6	470/18.5
DM 700/650	400/15.7	500/19.7

サービス

認定サービスセンター

最寄りの Husqvarna Construction Products 認定サービスセンターを探すには、Web サイト www.husqvarnacp.com をご覧ください。

適合宣言

EC 適合宣言

ハスクバーナ社(**Husqvarna AB**, SE-561 82 Huskvarna, Sweden、電話番号：+46-36-146500 は、単独責任のもとで、以下の製品の適合を宣言します。

名称	**ドリルスタンド**
ブランド	Husqvarna
タイプ／モデル	DS 500, DS 500 EX
ID	2019 年以降の製造番号

が以下の EU 指令および規制を完全に順守し、

指令／規制	**名称**
2006/42/EC	「機械類に関する」

以下の統一された規格および／または技術仕様が適用されていることを当社単独の責任で宣言します。

EN ISO 12100:2010

EN 12348:2000+A1:2009

EN 62841-3-6:2014+A11:2017

Partille, 2019-02-25



Erik Silfverberg

Global R&D Director

Concrete Sawing & Drilling

Husqvarna AB, Construction Division

목차

서문.....15
안전성.....16
조립.....18
설치.....20
작동(Operation).....23
유지 보수.....23
운반 및 보관.....24
기술 정보.....25
서비스.....25
준수 선언문.....26

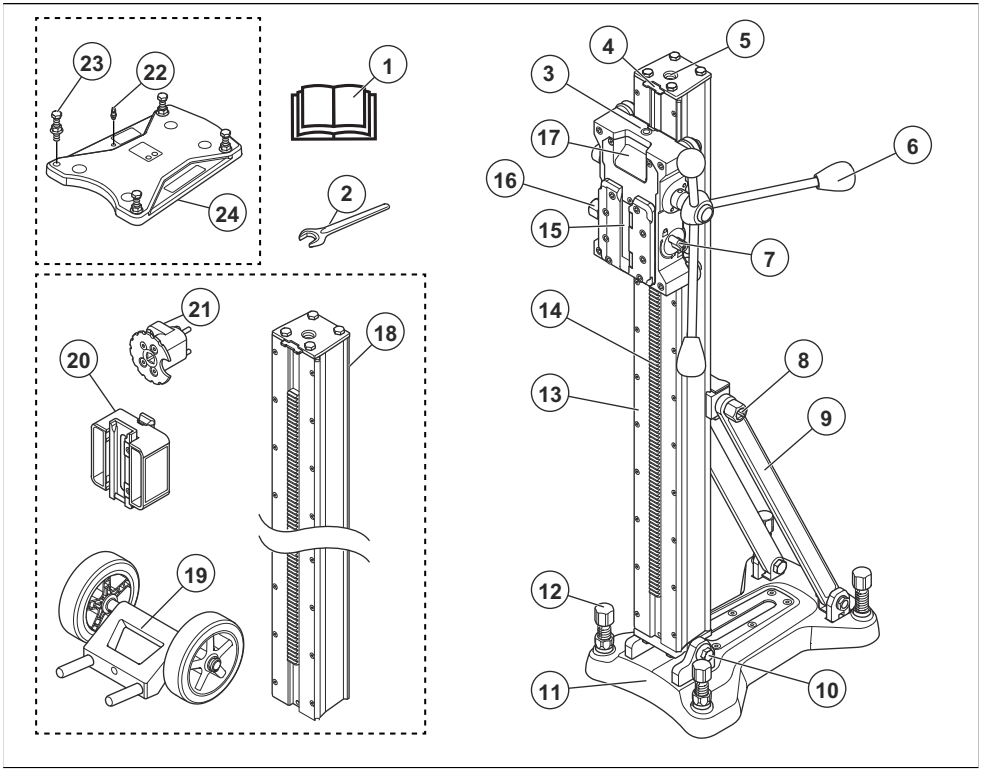
서문

제품 설명

이 제품은 Husqvarna 드릴 모터용 드릴 스탠드입니다.

- 천장, 벽 및 바닥 드릴 작업을 위한 스탠드입니다.
- 이 드릴 스탠드는 안정적이며, 최대 직경 500mm까지의 구멍을 뚫는 데 사용할 수 있습니다.
- 컬럼을 0~90° 각도로 기울일 수 있습니다.
- 드릴 스탠드에는 드릴 모터용 퀵 마운팅 플레이트가 있습니다.
- 피드 레버를 사용하여 컬럼 기울기를 설정하고 퀵 마운팅을 고정할 수 있습니다.
- 드릴 스탠드에 2m 길이의 컬럼(부속품)을 사용할 수 있습니다.

제품 개요



1. 사용자 설명서
2. 렌치, 24~32mm
3. 수준 표시기
4. 멈춤 장치
5. 잭 나사(부속품)용 구멍
6. 표면이 절연 처리 된 피드 레버

7. 캐리지 잠금 장치
8. 잠금 나사, 컬럼 기울기
9. 지원
10. 힌지 브래킷
11. 바닥 플레이트
12. 수평 조절 나사
13. 드릴 컬럼
14. 기어 랙
15. 잠금 클램프, 퀵 마운팅
16. 잠금 나사, 잠금 클램프
17. 캐리지
18. 드릴 컬럼, 2미터(부속품)
19. 이동 바퀴(부속품)
20. 어댑터, 퀵 스페이서(부속품)
21. AD 브래킷(부속품)
22. 진공 펌프 연결
23. 수평 조절 나사
24. 개스킷, 바닥 진공 흡입

제품의 기호



경고: 본 제품은 위험할 수 있고 작업자 또는 다른 사람에게 심각한 부상이나 사망을 초래할 수 있습니다. 제품을 조심해서 올바르게 사용하십시오.



제품을 사용하기 전에 사용자 설명서를 주의 깊게 읽고 지침을 숙지하십시오.



인가된 청각 보호 장구를 사용하십시오.

주: 제품에 대한 여타 기호/도안은 일부 시장의 특수 인증 요구사항을 나타냅니다.

제품 손상

다음과 같은 경우 Husqvarna에서는 제품의 손상에 대해 책임을 지지 않습니다.

- 제품이 올바르지 않게 수리된 경우
- 제품이 제조업체에서 제공하지 않았거나 승인하지 않은 부품으로 수리된 경우
- 제품에 제조업체에서 제공하지 않았거나 승인하지 않은 액세서리가 있는 경우
- 제품이 인가된 서비스 센터 또는 인가된 기관에서 수리되지 않은 경우

안전성

안전 정의

설명서에서 특히 중요한 부분을 가리킬 때 경고, 주의, 참고가 사용됩니다.



경고: 설명서의 지시 사항을 준수하지 않을 경우 작업자나 옆에 있던 사람이 부상을 입거나 사망할 위험이 있을 때 사용됩니다.



주의: 설명서의 지시 사항을 준수하지 않을 경우 제품, 다른 재료 또는 인접한 지역에서 피해가 발생할 위험이 있을 때 사용됩니다.

주: 주어진 상황에 대한 정보를 추가로 제공할 때 사용됩니다.

상식에 준한 판단



경고: 제조사의 승인 없이는 어떠한 경우에도 장비의 설계 원형을 변경할 수 없습니다. 항상 정격 예비 부품을 사용하십시오. 승인을 받지 않은 개조 및/또는 액세서리는 사용자나 다른 사람에게 심각한 부상이나 사망을 초래할 수 있습니다.

드릴 장비 사용 시 발생할 수 있는 모든 상황에 대처하는 것은 불가능합니다. 항상 사용에 조심하며 상식에 근거해 판단하십시오. 자신의 능력 밖이라고 판단되는 상황은 피하도록 하십시오. 본 설명서를 읽은 후에도 사용 방법에 대해 확실히 이해가 되지 않는 경우 사용 전에 전문가와 상의하십시오.

장비 사용에 관해 문의 사항이 있는 경우 망설이지 마시고 대리점에 연락 주시기 바랍니다. 장비를 효율적이고 안전하게 사용하실 수 있도록 기꺼이 서비스와 조언을 제공해 드리겠습니다.

Husqvarna 대리점에 정기적으로 드릴 장비 점검과 필수적인 조절 및 수리를 맡기십시오.

사용자 설명서의 모든 정보와 데이터는 인쇄하기 위해 사용자 설명서가 전달된 시점 기준입니다.

작동에 대한 안전 지침



경고: 이 설명서에 제시된 모든 안전 경고, 지침, 그림, 사양을 확인하십시오. 아래 나열된 지침을 따르지 않으면 감전, 화재 및/또는 심각한 부상이 발생할 수 있습니다. 추후 참조할 수 있도록 모든 경고와 지침을 보관하십시오.



경고: 움직이는 부품이 포함된 제품으로 작업할 때는 항상 부상의 위험이 있습니다. 보호 장갑을 착용하여 신체 부상을 방지하십시오.

- 개인 보호 장구를 사용하십시오. 항상 보안경을 착용하십시오. 적절한 작업 조건에 맞는 방진 마스크, 미끄럼 방지 안전화, 안전모 또는 청력 보호 장구와 같은 보호 장비를 사용하면 부상 위험을 줄일 수 있습니다.
- 전동 공구를 작동할 때에는 어린이와 구경꾼이 가까이 오지 못하게 하십시오. 주의가 산만해지면 통제력을 잃을 수 있습니다.
- 작업을 시작하기 전에 작업 영역에서 불필요한 물질을 모두 제거하고 충분한 조명이 있는지 확인하십시오. 작업 영역이 어수선하고 어두우면 사고 위험이 증가합니다.
- 가연성 액체, 가스 또는 먼지 등이 있는 폭발 가능한 환경에서 전동 공구를 작동하지 마십시오. 전동 공구는 먼지나 증기를 점화시킬 수 있는 불꽃을 발생시킵니다.
- 사람이나 동물이 갑자기 나타나면 제품에 대한 통제력을 잃을 수 있습니다. 따라서 항상 작업에 집중하십시오.
- 안개, 비, 강풍, 혹한 및 이와 유사한 조건과 같은 악천후에는 제품을 사용하지 마십시오. 악천후로 인해 미끄러운 표면 등 위험한 상황이 발생할 수 있습니다.
- 제품을 사용하기 전에 작업 영역을 점검하십시오. 갑작스럽고 위험한 움직임을 유발할 수 있는 장애물에 주의하십시오. 작동 중 헐거워져 떨어지거나 부상을 유발할 수 있는 물질이 없는지 확인하십시오.
- 드릴 작업 후에는 항상 작업 표면의 뒷면을 점검하십시오. 해당 구역에 표시를 하고 안전을 확보하십시오. 작업자에게 부상을 입히거나 물질에 손상을 주지 않도록 주의하십시오.
- 전동 공구를 작동할 때는 항상 주의를 기울이고, 진행 중인 작업에 집중하며 상식에 따라 행동하십시오. 피곤하거나 약물, 알코올 또는 의약품의 영향을 받는 상태에서는 전동 공구를 사용하지 마십시오. 전동 공구를 작동하는 동안 잠시라도 주의를 기울이지 않으면 심각한 인명 부상을 입을 수 있습니다.
- 실수로 시동이 걸리지 않도록 하십시오. 전동 공구를 전원 및/또는 배터리 팩에 연결하거나, 공구를 들어 올리거나 이동하기 전에 스위치가 OFF 위치에 있는지 확인하십시오. 스위치에 손가락을 올려놓은 상태로 전동 공구를 운반하거나 스위치가 ON 위치에 있는 전동 공구에 전원을 공급하면 사고가 발생할 수 있습니다.
- 제품으로 인해 물체가 튕겨 나가 작업자에게 부상을 입힐 수 있습니다. 제품을 시작하기 전에 조정 키와 렌치를 분리하십시오.
- 공구 사용에 익숙해졌다고 해서 방심하거나 공구 안전 원칙을 무시하지 마십시오. 찰나의 부주의한 행동으로도 심각한 부상을 입을 수 있습니다.
- 제품을 사용하는 모든 작업자가 사용자 설명서의 내용을 읽고 이해했는지 확인하십시오.
- 적절한 복장을 착용하십시오. 헐거운 옷이나 장신구를 착용하지 마십시오. 머리카락과 옷이 움직이는 부품에서 멀리 떨어지게 하십시오. 헐거운 옷, 장신구 또는 긴 머리카락이 움직이는 부품에 끼일 수 있습니다.
- 드릴 모터를 벽, 천장 또는 바닥에서 빼낼 때 드릴 비트에 있는 콘크리트 코어를 반드시 제거하십시오. 드릴 모터를 빼낼 때 콘크리트 코어가 드릴 비트에 남아 있으면 위험한 사고가 발생할 수 있습니다.
- 모터가 켜져 있을 때는 드릴 비트에서 일정 거리를 유지하십시오.
- 작업 영역에 파이프나 전기 케이블이 없는지 확인하십시오.
- 모터가 켜져 있을 때 제품에서 자리를 비우지 마십시오.
- 무리하게 팔을 뻗지 마십시오. 항상 안정적인 자세와 균형을 유지하십시오. 이를 통해 예상치 못한 상황에서 전동 공구를 더 잘 제어할 수 있습니다.
- 제품을 사용할 때는 항상 근처에 다른 사람이 있는지 확인하십시오. 사고 발생 시 즉시 도움을 받을 수 있습니다.
- 안전 장비에 결함이 있는 제품은 사용하지 마십시오.
- 이 설명서에 명시된 대로 안전 점검, 유지 보수 및 서비스를 수행하십시오. 일부 유지 보수 및 서비스 작업은 반드시 승인된 서비스 대리점에서 수행해야 합니다. *제품의 안전장치 페이지의 18* 항목을 참조하십시오.
- 점검 및/또는 유지 보수는 모터를 OFF 위치에 두고 플러그를 콘센트에서 분리하고 수행해야 합니다.
- 공장 출고 시 사양에서 개조된 제품을 사용하지 마십시오.
- 조정 작업을 하거나 액세서리를 교체하거나 전동 공구를 보관하기 전에 전원에서 플러그를 분리하고/분리하거나 전동 공구에서 배터리 팩을 분리하십시오. 이러한 예방적 안전 조치는 전동 공구가 실수로 시작될 위험을 줄여줍니다.
- 손잡이와 파지 표면을 건조하고 깨끗하게 유지하며 오일이나 그리스가 묻지 않도록 하십시오. 미끄러운 손잡이와 파지 표면이 미끄러우면 안 됩니다.
- 제품에 과부하를 주지 마십시오. 제품에 과부하가 걸리면 제품이 손상될 수 있습니다.
- 모든 부품을 양호한 상태로 유지하고 모든 고정 장치가 올바르게 조여졌는지 확인하십시오.

개인 보호 장구



경고: 제품을 사용하기 전에 다음 경고 지침을 읽으십시오.

- 제품을 작동할 때 항상 올바른 개인 보호 장구를 사용하십시오. 개인 보호 장구가 부상의 위험을 없앨 수 있는 것은 아닙니다. 개인 보호 장구는 사고가 발생할 경우 부상의 정도를 감소시킵니다. 대리점에서 올바른 장비를 선택할 수 있도록 하십시오.
- 제품을 작동하는 동안 승인된 시각 보호 장구를 착용하십시오.
- 철제 토 캡이 있는 튼튼한 미끄러짐 방지 작업화를 사용하십시오.
- 몸에 꼭 맞되 동작을 제한하지 않는 옷을 입으십시오.
- 정기적으로 개인 보호 장구의 상태를 점검하십시오.
- 승인된 튼튼한 보호용 장갑을 사용하십시오.
- 고무 보호 장갑을 착용하여 젖은 콘크리트로 인한 피부 자극을 방지하십시오.
- 승인된 안전모를 사용하십시오.

- 제품을 작동하는 항상 승인된 귀 보호 장구를 사용하십시오. 장시간 소음이 소음성 난청의 원인이 될 수 있습니다.
- 제품에서 발생하는 먼지와 가스는 건강에 해롭습니다. 승인된 호흡 보호 장구를 사용하십시오.
- 근처에 구급 상자가 있는지 확인하십시오.
- 제품을 작동할 때 불꽃이 발생할 수 있습니다. 근처에 소화기가 있는지 확인하십시오.
- 움직이는 부품에 끼일 수 있는 헐거운 옷, 장신구 또는 기타 물품을 사용하지 마십시오. 머리카락을 어깨 높이 위로 안전하게 올리십시오.

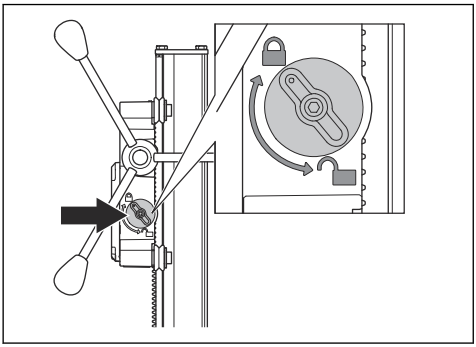
제품의 안전장치

경고: 제품을 사용하기 전에 다음 경고 지침을 읽으십시오.

- 안전장치가 손상되었거나 올바르게 작동하지 않는 제품을 사용하지 마십시오.
- 안전장치를 정기적으로 점검하십시오. 안전장치가 손상되었거나 올바르게 작동하지 않는 경우 Husqvarna 서비스 대리점에 문의하십시오.
- 안전장치를 개조하지 마십시오.

캐리지 잠금 장치 점검 방법

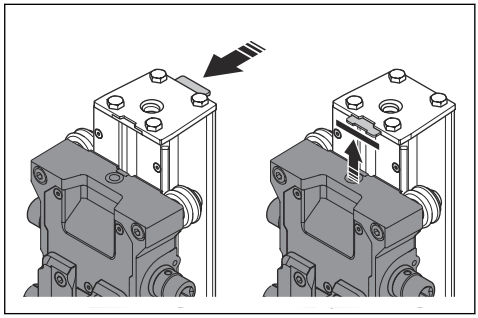
1. 손잡이를 돌려 모터 캐리지를 잠급니다.



2. 캐리지가 드릴 컬럼에 잠겼는지 손의 느낌으로 확인하십시오.

드릴 컬럼의 멈춤 장치 점검 방법

1. 정지 플레이트를 올바른 위치로 밉니다.



2. 드릴 모터 캐리지가 정치 플레이트에 닿으면 정지하는지 확인하십시오.

유지 보수에 대한 안전 지침

경고: 검사 및/또는 유지 보수는 모터의 전원을 끄고 플러그를 분리한 후 실시하여야 합니다.

- 제품과 부속품을 유지 보수하십시오. 움직이는 부품의 오정렬 또는 고착, 부품의 파손 및 기타 제품의 작동에 영향을 줄 수 있는 상태를 점검하십시오. 제품이 손상된 경우 사용하기 전에 수리하십시오.
- 동일한 교체 부품만을 사용하는 Husqvarna 서비스 대리점에만 제품 서비스를 맡기십시오.

조립

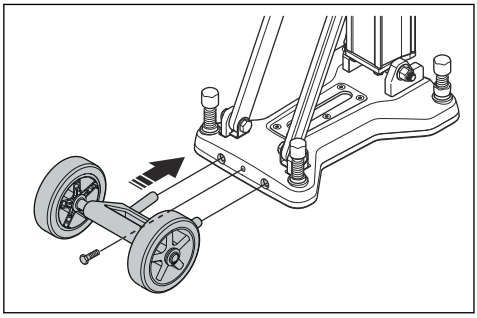
서문

이 섹션에서는 제품을 조립 및 조정하는 방법에 대해 설명합니다.

경고: 제품을 조립하기 전에 안전에 관련된 장과 조립 지시사항을 읽으십시오.

휠 키트(부속품) 부착 방법

1. 바닥 플레이트의 뒷면에 휠 키트를 부착합니다.

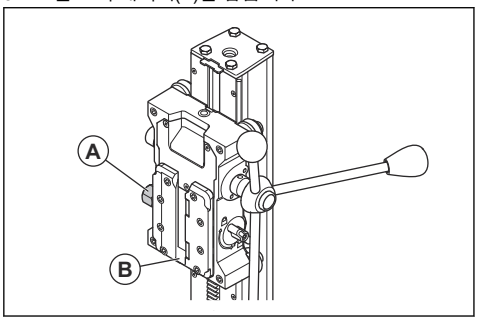


2. 나사를 조입니다.

드릴 모터 부착 방법

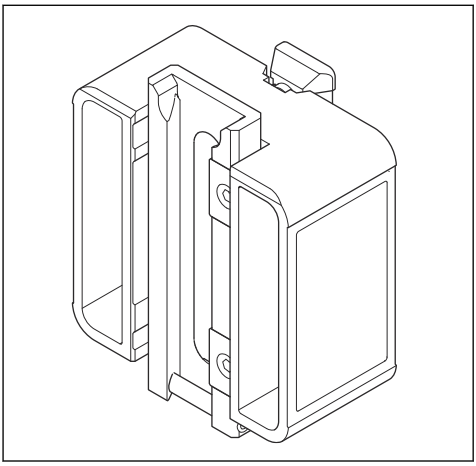
경고: 청소, 유지 보수 또는 조립을 하기 전에 항상 플러그를 소켓에서 빼십시오.

1. 드릴 모터 캐리지(A)의 잠금을 해제합니다.
2. 드릴 모터 캐리지의 트랙(B)에 드릴 모터를 부착합니다.
3. 드릴 모터 캐리지(A)를 잠급니다.



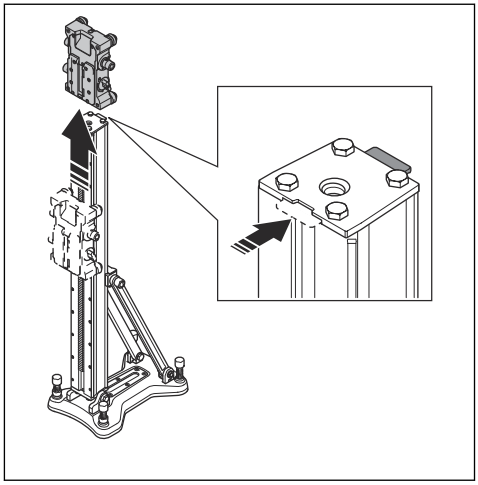
퀵 스페이서(부속품)

퀵 스페이서를 사용하여 지름이 큰 구멍을 뚫습니다. 올바른 퀵 스페이서를 선택하는 방법은 *최대 드릴 직경 페이지의 25*을(를) 참조하십시오. 드릴 스탠드에 드릴 모터를 부착하기 전에 드릴 모터에 퀵 스페이서를 조립합니다.

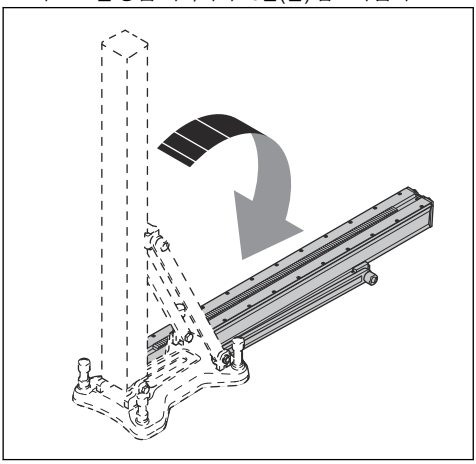


드릴 스탠드 컬럼(부속품) 교체 방법

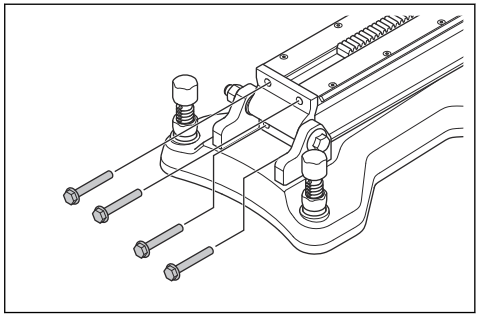
1. 정지 플레이트를 열림 위치까지 밉니다. 드릴 모터 캐리지를 제거합니다.



2. 드릴 스탠드 칼럼을 뒤로 완전히 접습니다. *드릴 컬럼 각도 조절 방법 페이지의 23*을(를) 참조하십시오.



3. 힌지 브래킷에서 볼트 4개를 제거합니다.



4. 드릴 스탠드 컬럼을 제거합니다.
5. 드릴 스탠드 컬럼을 반대 순서로 설치합니다.

설치

설치 절차

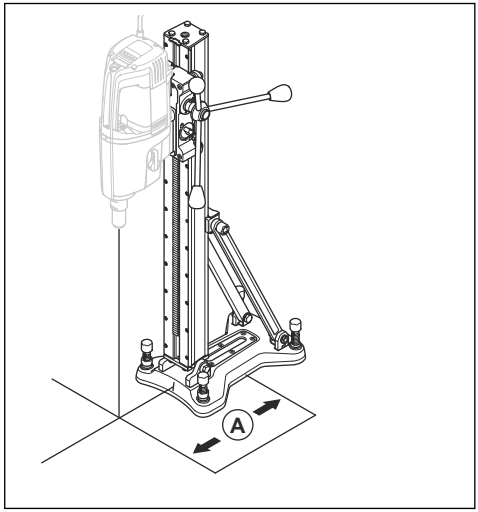
드릴 작동 전 제품에 설치할 수 있는 세 가지 절차가 있습니다.

- 확장기 볼트 사용.
- 진공 플레이트 사용.
- 모든 나사산 로드, 와셔 및 잠금 너트 포함.

확장기 볼트로 드릴 스탠드를 부착하는 방법

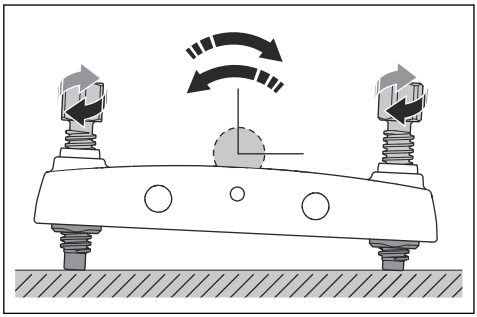
경고: 천장이나 벽에 드릴 작업을 할 때 장력에 노출되는 표면에 적합한 익스펜더 또는 앵커를 사용해야 합니다. 현재 용도로 승인된 익스펜더 또는 앵커만 사용하십시오.

1. 확장기 볼트용 구멍을 만듭니다. *확장기 볼트 부착 방법 페이지의 21*을(를) 참조하십시오. 뚫을 구멍의 중심에서 335mm(13.2인치)의 거리(A)를 측정합니다. 퀵 스페이서(부속품)를 사용하는 경우에는 거리가 다릅니다. *퀵 스페이서(부속품) 페이지의 19*을(를) 참조하십시오.



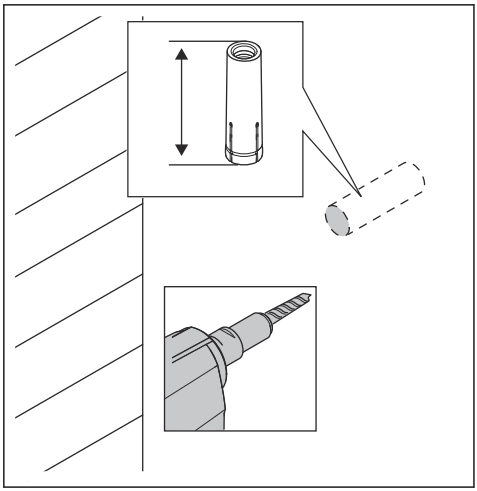
2. 확장기 볼트로 바닥 플레이트를 부착합니다.
3. 드릴 스탠드가 제대로 조여졌는지 확인합니다.

4. 필요하면 바닥 플레이트를 조절합니다. 수평 조절 나사를 사용하여 바닥 플레이트를 표면에 맞게 조절합니다.

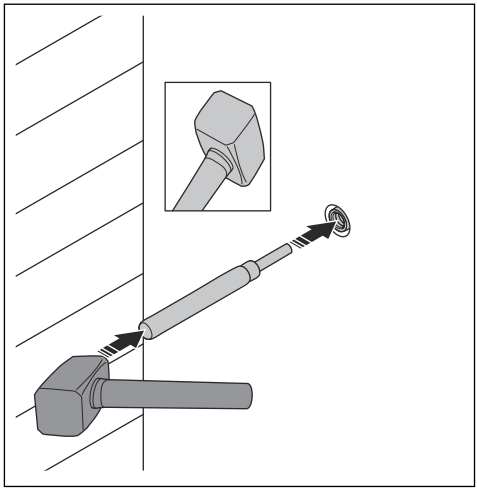


확장기 볼트 부착 방법

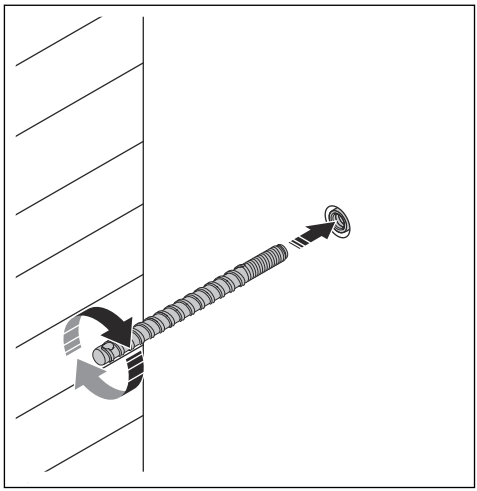
1. 확장기 볼트용 구멍을 뚫습니다. 깊이가 충분한지 확인합니다. 소켓을 표면 아래에 배치해야 합니다.



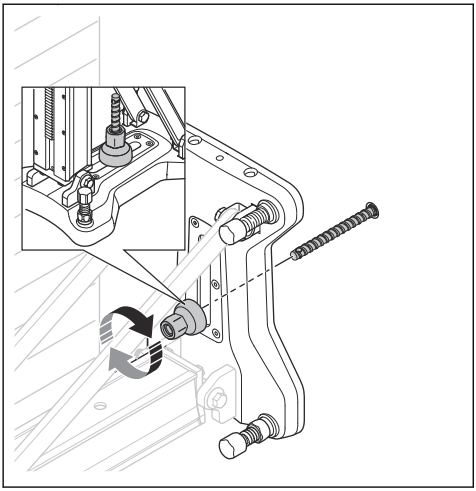
2. 맨드릴과 해머를 사용하여 확장기를 설치합니다.



3. 앵커 나사를 설치합니다.



4. 제품을 너트와 함께 부착합니다.



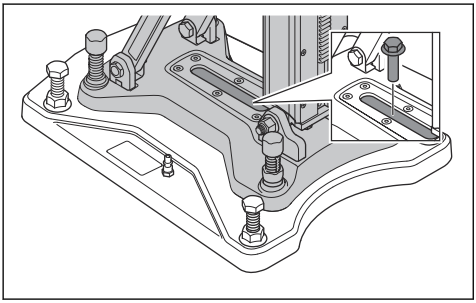
Husqvarna 진공 플레이트로 제품을 부착하는 방법

경고: 벽 또는 천장을 뚫을 때 제품을 진공 플레이트와 함께 사용하지 마십시오.

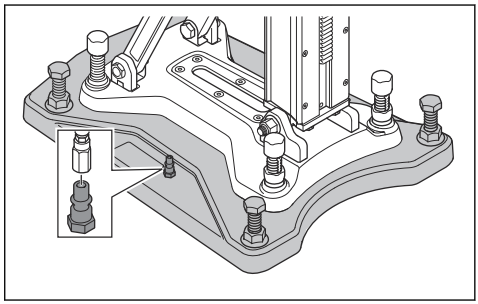
경고: 지지면이 평평하고 품질이 좋아야 합니다. 진공 플레이트를 표면에 완전히 밀봉하지 못하면 제품이 느슨해질 수 있습니다.

경고: 진공 플레이트는 이 Husqvarna 드릴 모터와만 함께 사용하는 것이 좋습니다. DM 220, DM 230, DM 280, DM 340, DM 400, DM 430. 다른 드릴 장비를 사용하면 제품이 느슨해질 수 있습니다.

1. 볼트로 제품을 진공 플레이트에 부착합니다.



2. 수평 조절 나사를 폅니다. 나사가 진공 플레이트의 바닥보다 위에 있어야 합니다.
3. 진공 호스를 연결하고 펌프를 시동합니다.



주의: 진공 플레이트를 표면에 단단히 밀봉하려면 최소 압력이 -0.85bar는 되어야 합니다.

4. 나사에 압력을 느낄 때까지 수평 나사를 조입니다.

경고: 진공 플레이트를 사용할 때 수평 조절 나사가 표면에 닿아야 합니다. 표면에 닿지 않으면 진공 플레이트가 느슨해질 수 있습니다.

나사산이 있는 로드로 드릴 스탠드를 부착하는 방법

확장기 볼트로 벽 또는 천장에 드릴 스탠드를 부착할 수 없는 경우 관통 로드를 사용합니다. 와셔와 너트를 사용하여 관통 로드를 조입니다.

작동(Operation)

제품을 작동하기 전에

경고: 이 장비는 콘크리트, 벽돌 및 다양한 석재 드릴 작업용으로 설계 및 제작되었습니다. 다른 모든 용도는 부적절합니다.

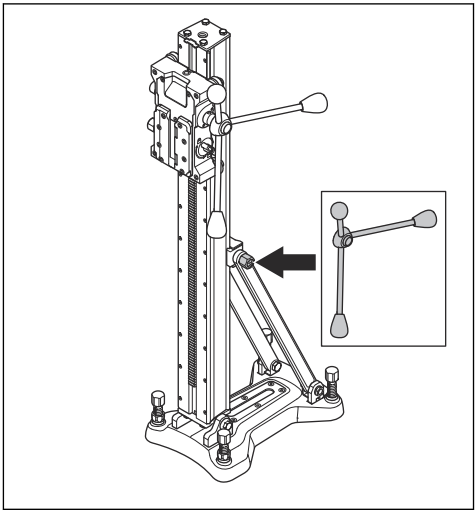
경고: 드릴 작업 전에 모든 잠금 나사가 단단히 조여져 있는지 확인하십시오. 바닥, 벽 또는 천장에서 드릴 모터/드릴을 빼낼 때 콘크리트 코어가 드릴에 남아있으면 심각한 사고가 발생할 수 있습니다.

경고: 천장에 드릴 작업을 할 때는 항상 해당 드릴 모터용으로 승인된 집수기를 사용하거나 유압 드릴 모터를 사용하십시오. 장비 내부로 물이 누출되면 드릴링 장비와 스탠드에 전기가 통할 위험이 있습니다.

- 사용자 설명서를 주의 깊게 읽고 지침을 숙지하십시오.
- 사고를 방지하기 위해 작업 구역을 깨끗하고 밝게 유지하십시오.
- 일일 유지 보수를 수행하십시오. *드릴 스탠드 일일 유지 보수 페이지의 23* 항목을 참조하십시오.
- 개인 보호 장구를 사용하십시오. *개인 보호 장구 페이지의 17* 항목을 참조하십시오.

드릴 컬럼 각도 조절 방법

1. 드릴 컬럼을 고정하는 잠금 나사를 풀고 적절한 드릴 각도를 설정합니다.



2. 각도 표시기를 사용하여 근사치로 조절합니다. 더 정밀해야 하는 경우 대체 방법을 사용하여 측정합니다.
3. 드릴 컬럼의 잠금 나사를 조입니다. 피드 레버를 사용합니다. 드릴 컬럼을 0~90° 기울일 수 있습니다.

유지 보수

서문

경고: 제품의 유지 보수 작업을 수행하기 전에 안전 장을 읽고 이해하십시오.

경고: 부상을 방지하려면 유지 보수를 수행하기 전에 전원 코드를 분리하십시오.

드릴 스탠드 일일 유지 보수

- 너트와 나사가 조여졌는지 확인합니다.
- 드릴 스탠드의 외부 표면을 청소합니다.
- 피드 레버가 저항 없이 움직이는지 확인합니다.
- 기어가 쉽게 움직이고 소음이 발생하지 않는지 확인합니다.
- 드릴 컬럼에 마모 또는 손상이 없는지 살펴봅니다.
- 드릴 모터 캐리지가 쉽게 이동하고 드릴 컬럼에 유격이 없는지 확인합니다.

드릴 스탠드 청소 및 윤활 방법

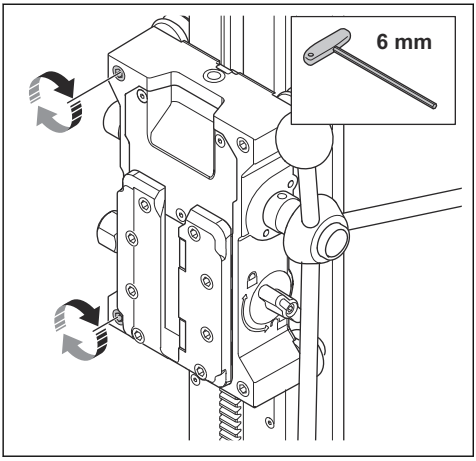
주의: 청소하지 않으면 드릴 스탠드가 손상될 수 있습니다.

1. 드릴 모터를 제거합니다.
2. 고압 세척기로 드릴 스탠드를 청소한 다음 마른 천으로 물기를 제거합니다.
3. 드릴 스탠드에서 움직이는 부품을 윤활합니다. 접촉면에 그리스를 발라서 부식을 방지합니다.

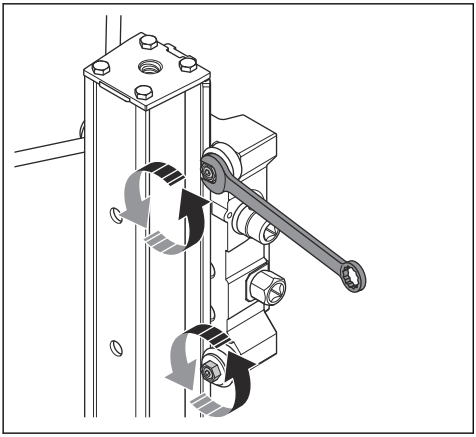
드릴 모터 캐리지 조절 방법

드릴 컬럼과 드릴 모터 캐리지 사이에 거리가 있으면 드릴 모터 캐리지를 조절해야 합니다.

1. 롤러 축을 고정하는 나사를 풉니다.

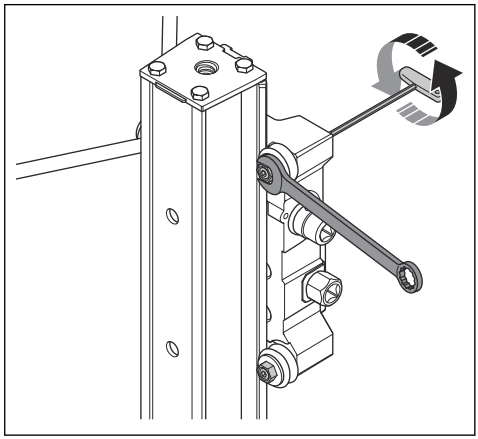


2. 롤러 축을 조정합니다. 나사를 시계 반대 방향으로 돌려 가이드 휠을 드릴 컬럼 방향으로 이동합니다. 가이드 휠이 드릴 컬럼에 닿을 때까지 나사를 돌립니다.



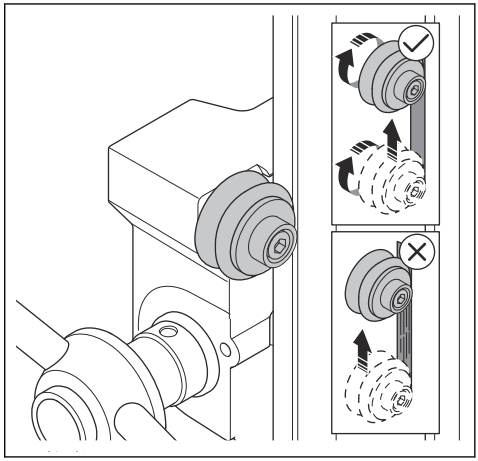
주: 롤러 축을 너무 강하게 조이지 마십시오. 드릴 모터 캐리지가 드릴 컬럼에서 부드럽게 움직이는지 확인합니다.

3. 렌치로 가이드 휠 위치를 잠급니다. 나사를 조여 육각 키로 롤러 축을 잠급니다.



주: 롤러 축을 조인 후 피드 레버로는 돌릴 수 있지만, 손으로는 돌릴 수는 없습니다.

4. 피드 레버를 사용하여 모터 캐리지를 위아래로 움직입니다. 드릴 모터 캐리지가 드릴 컬럼에서 부드럽게 움직이는지 확인합니다. 캐리지가 드릴 칼럼에서 움직일 때 롤러 측이 회전해야 합니다. 필요하면 롤러 축을 다시 조절합니다.



운반 및 보관

운반 및 보관

- 제품을 안전하게 부착하여 운반 중 손상 및 사고를 방지하십시오.
- 부속품 이동 바퀴를 사용하여 드릴 유닛이 장착된 스탠드를 운반할 수 있습니다.
- 들어 올리는 총 중량이 25kg을 초과하므로 이동 바퀴가 없으면 드릴 유닛을 스탠드에서 분리해야 합니다.
- 어린이나 승인되지 않은 사람이 접근하지 못하도록 제품을 자물쇠가 있는 장소에 보관하십시오.
- 드릴 장비와 스탠드를 건조하고 결빙되지 않는 상태로 유지하십시오.

기술 정보

기술 정보

치수	DS 500	DS 500 EX
높이, mm/인치	1050/41.3	1152/45.4
폭, mm/인치	240/9.4	240/9.4
깊이, mm/인치	394/15.5	394/15.5
중량, kg/lbs	18.2/40.1	18.8/41.5
이동 길이, mm/인치	706/27.8	785/30.9
최대 하중(핸들), kg/lbs	120/264.5	120/264.5
드릴 컬럼 각도	0~90º	0~90º

최대 드릴 직경

드릴 모터	스페이서, mm/인치	
	스페이서 없음	50/2
DM 200	150/5.9	150/5.9
DM 210 SP	150/5.9	150/5.9
DM 280/340	370/14.6	470/18.5
DM 400	370/14.6	470/18.5
DM 430	370/14.6	470/18.5
DM 700/650	400/15.7	500/19.7

서비스

승인된 서비스 센터

가장 가까운 Husqvarna Construction Products에서 인가
한 서비스 센터를 찾으려면 웹 사이트
(www.husqvarnacp.com)를 방문하십시오.

준수 선언문

EC 적합성 선언

당사(**Husqvarna AB**, SE-561 82 Huskvarna, Sweden, 전화: +46-36-146500)는 당사의 전적인 책임하에 제품이

설명	**드릴 스탠드**
브랜드	Husqvarna
유형/모델	DS 500, DS 500 EX
식별	2019년도 일련번호부터 그 이후

다음의 EU 지침 및 규정을 모두 준수하고

지침/규정	**설명**
2006/42/EC	"장비류 관련"

다음과 같은 조화된 표준 및/또는 기술 사양이 적용되었음을 선언합니다.

EN ISO 12100:2010

EN 12348:2000+A1:2009

EN 62841-3-6:2014+A11:2017

Partille, 2019-02-25



Erik Silfverberg

Global R&D Director

콘크리트 절단 및 천공

Husqvarna AB, 건설사업부

内容

简介.....27
安全性.....28
装配.....30
安装.....31
操作.....34
维护.....34
运输及存放.....35
技术参数.....36
保养.....36
一致性声明.....37

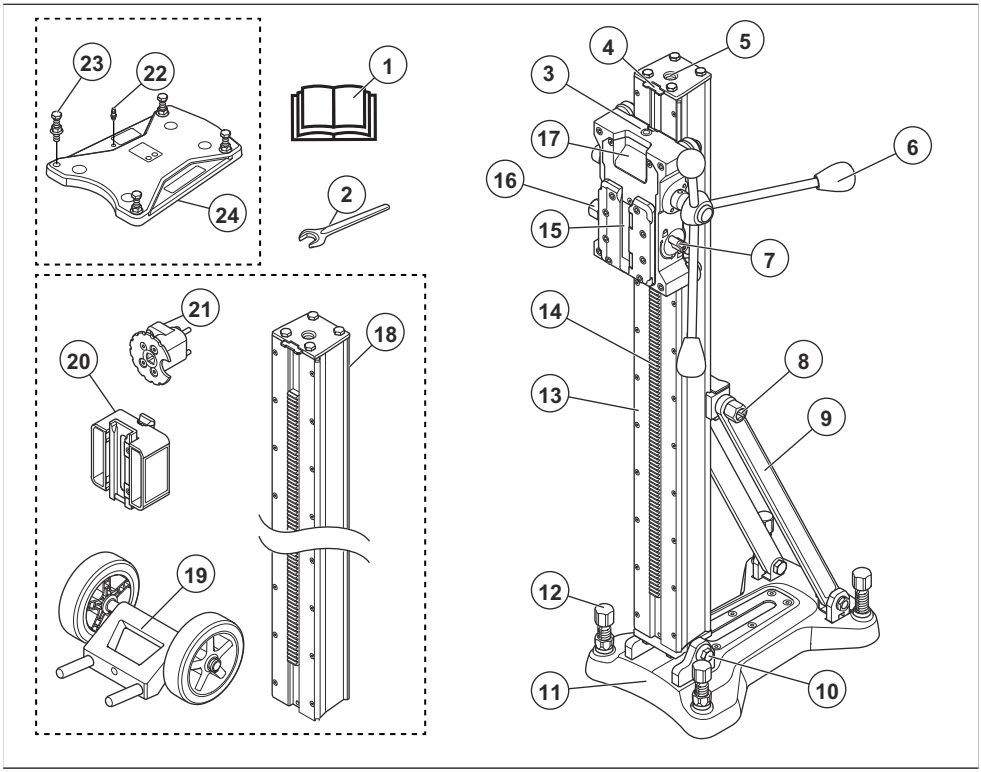
简介

产品说明

本产品为 Husqvarna 动力钻机的钻架。

- 钻架便于电钻在天花板、墙壁和地板上进行钻孔。
- 钻架结构稳固，最大钻孔直径可达 500 mm。
- 钻柱可倾斜 0-90°。
- 钻架上有一块装配动力钻机的快速安装板。
- 进给手柄可用于设定钻柱倾斜度并锁住快速安装板。
- 可以在钻架上使用 2 米长的钻柱（附件）。

产品概览



1. 操作手册
2. 扳手，24-32 mm
3. 水平指示器
4. 终点止动装置
5. 顶起螺丝孔（附件）
6. 带绝缘抓握面的进给手柄
7. 托架锁
8. 锁定螺丝，倾斜钻柱
9. 支撑件
10. 铰链支架

11. 底板
12. 水平调整螺钉
13. 钻柱
14. 齿条
15. 锁定夹，快速安装件
16. 锁定螺丝，锁定夹
17. 托架
18. 钻柱，2 米（附件）
19. 运输轮（附件）
20. 适配器，快速间隔片（附件）
21. AD 支架（附件）
22. 真空泵接头
23. 水平调整螺钉
24. 底部真空吸力垫圈

本产品上的符号



警告：本产品可能会带来危险，会对操作员或其他人造成严重伤害或死亡。请多加小心，并正确使用本产品。



请认真阅读本说明书，确保在充分理解各项说明之后再使用本产品。



请使用获得批准的听力保护装备。

注意： 有关本产品上的其他符号/标识，请参阅适用于某些市场的特殊认证要求。

产品损坏

对于因下列情况造成的产品损坏，Husqvarna 概不负责：

- 未正确修理产品。
- 使用非原装零部件或者未获原厂批准的零部件修理产品。
- 产品加装了非原装的或者未获原厂批准的附件。
- 未在授权的保养厂修理产品，或者未由授权的机构修理产品。

安全性

安全定义

本手册使用了“警告”、“小心”和“注意”来指出特别重要的内容。



警告： 当不遵守手册中的说明可能会给操作员或周围人员带来伤害或死亡风险时，会使用此标志。



小心： 当不遵守手册中的说明可能会对产品、其他材料或附近区域造成损坏时，会使用此标志。

注意： 用于提供特定状况下所需的更多信息。

记住运用常识



警告： 在任何情况下，未经制造商批准，都不得修改本机的原有设计。请始终使用原厂零件。未经许可擅自修改和/或使用未经认可的零件，可能导致严重伤害或死亡。

不可能对您在使用钻机时可能遇到的情况一一点到。务必多加小心，并运用常识来应对。在任何超出您能力范围的情况下，请不要使用。如果您在阅读本手册说明之后对于操作流程依然不确定，应在咨询专家之后再继续操作。

如果您对于本机的使用还有任何疑问，请立即与您的经销商联系。我们将竭诚为您服务，并提供建议与帮助，确保您高效安全地使用机器。

请您的 Husqvarna 经销商定期检查钻机，并进行必要的调整及修理。

《说明书》中的所有信息和数据在付印时皆适用。

操作安全须知



警告： 请阅读此手册中的所有安全警告、说明、图示和规格。如不遵循下列所有说明，可能会导致电击、火灾和/或严重伤害。保存所有警告和说明供以后参考。



警告： 操作含有运动部件的产品时，始终存在导致伤害的风险。戴上保护手套以免受伤。

- 使用个人防护装备。始终佩戴眼部防护装备。适用于作业条件的防尘面罩、防滑安全鞋、安全帽、听觉保护装备等防护装备可减少人身伤害。
- 操作电动工具时，请远离儿童和旁人。操作时分心可能会导致机器失控。
- 启动机器之前，先清除工作区域中所有多余物并确保光照充足。如果该区域未事先清洁且无照明，则事故风险将升高。
- 请勿在有可燃液体、气体或粉尘等易爆炸物的环境中操作电动工具。电动工具会产生火花，从而可能会使粉尘或烟雾着火。
- 突然出现的人员和动物可能会减弱您对本产品的控制能力。因此，请始终集中精力专心操作。
- 请勿在恶劣天气（如雾天、雨天、强风、严寒及类似气候状况等）下使用本产品。恶劣天气会导致危险的情况，如湿滑的路面。
- 使用本产品前，请先对工作区域进行检查。留意会导致突然和危险运动风险的障碍物。确保操作过程中无任何材料会松动和掉落或造成伤害。

- 钻孔后，请务必检查钻孔表面的后侧。请在该区域设置标记，并采取安全防护措施。请确保不要造成人员伤害和材料受损。
- 操作电动工具时，保持警觉并密切注意正在执行的操作，根据常识做出合理判断。请勿在感到疲倦或服用药剂、酒精或药物后使用电动工具。在操作电动工具时，稍有不慎，可能会导致严重的人员伤害。
- 防止机器意外启动。在将电动工具连接到电源和/或电池组，以及提起或移动工具之前，请确保开关处于关闭位置。若在移动电动工具时将手指放在开关上，或在开关处于打开位置时为电动工具通电，都可能会引发事故。
- 本产品可能导致物体迸出，从而可能对操作员造成伤害。在启动产品之前，请拆下调整扳手。
- 在频繁使用工具而熟悉工具后，不要掉以轻心并忽视工具的安全原则。任何疏忽大意都可能会直接造成严重的伤害。
- 确保本产品的所有操作员均已阅读并理解操作手册的内容。
- 必须穿戴规定的防护服装。请勿穿宽松的服装或佩戴首饰。保持头发和衣服远离运动部件。宽松的服装、首饰或长头发可能会绞入运动部件中。
- 在将动力钻机从墙壁、天花板或地板上拉出时，确保清除钻头上的混凝土芯。在将动力钻机拉出时，如果钻头里面含有混凝土芯，可能会引发危险事故。
- 电机在运转时，请与钻头保持一定距离。
- 确保工作区内无管道或电缆。
- 请勿在电机运转期间离开本产品。
- 请勿过度伸展作业。请始终保持正确站稳和平衡。这样在出现意外时可以更好地控制电动工具。
- 使用本产品时，请确保始终有另一人可提供帮助。如果发生事故，您可以在必要时获得帮助。
- 切勿在安全装备有故障的情况下使用本产品。
- 按照本手册中的说明进行安全检查、维护和保养。某些维护和保养措施必须由指定的保养厂执行。请参阅*产品上的安全装置在第 29 页上*。
- 进行检查和/或维护时，必须让电机处于关闭位置，并将插头从电源插座中拔出。
- 如果产品改装偏离了出厂规格，那么切勿使用产品。
- 在对电动工具进行任何调整、附件改装或予以存放前，请将电动工具的插头从电源上拔掉，并/或取出电池组。此类预防性安全措施可降低不小心启动电动工具的风险。
- 保持手柄和握持面干燥、清洁且无油脂。手柄和握持面不得打滑。
- 切勿使本产品过载。如果本产品过载，则可能遭受损坏。
- 保持所有部件均处于良好状态，并确保正确上紧所有紧固件。

个人防护装备

警告： 请在使用本产品前阅读下面的警告说明。

- 操作产品时务必使用正确的个人防护装备。个人防护装备不会消除伤害风险。如果出现事故，个人防护装备可降低伤害程度。请经销商协助您选择正确的防护装备。
- 操作产品时，务必使用经过批准认证的眼睛保护装备。
- 请穿上带钢制鞋头的、结实的防滑安全鞋。
- 请穿着贴身但不限制运动的衣服。
- 定期检查个人防护装备的状况。
- 请使用经过批准的重型保护手套。
- 请使用橡胶保护手套，以防止湿混凝土对皮肤造成刺激。
- 请使用经过批准认证的保护头盔。
- 操作产品时，务必使用经过批准认证的听觉保护设备。长期接触噪音可能导致噪音引发的听力受损。
- 本产品会产生对您的健康有害的粉尘和烟雾。请使用经过批准的呼吸保护装备。
- 确保急救包就在附近。
- 操作本产品时可能会产生火花。确保灭火器就在附近。
- 勿穿戴宽松衣物、珠宝或其他首饰，否则容易卷入运动部件中。确保头发安全地挽在肩部以上。

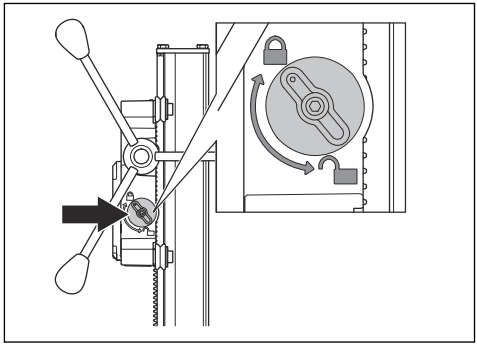
产品上的安全装置

警告： 请在使用本产品前阅读下面的警告说明。

- 请勿使用安全装置受损或无法正常工作的产品。
- 定期检查安全装置。如果安全装置受损或无法正常工作，请联系您的 Husqvarna 保养经销商。
- 切勿改装安全装置。

检查托架锁

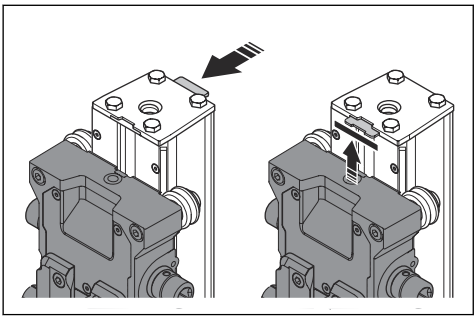
1. 转动旋钮以锁定电机托架。



2. 用手感觉托架是否被锁在钻柱上。

检查钻柱的终点止动装置

1. 将止动板推入正确的位置。



2. 确保电钻马达托架在接触到止动板时停止。

维护安全须知

警告： 进行检查和/或维护时，应当关掉马达并断开插头。

- 维护产品和附件。检查移动部件是否未对齐或卡住，零件是否破损，以及是否存在可能影响本产品操作的任何其他状况。如果本产品损坏，请在使用前先对其进行维修。
- 维修本产品时，请联系 Husqvarna 服务经销商并仅使用相同的更换零件。

装配

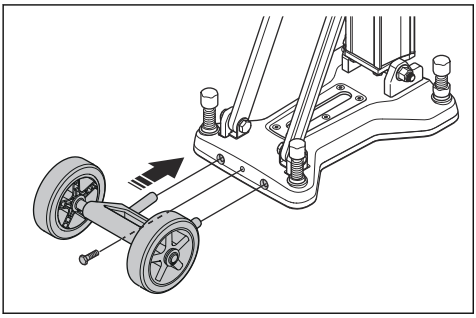
简介

本节介绍如何装配和调整产品。

警告： 装配产品之前，请先阅读安全章节和安装指导。

安装轮子套件（附件）

1. 将轮子套件安装在底板后侧。

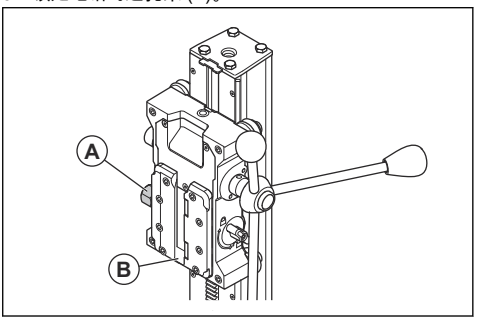


2. 上紧螺丝。

安装电钻马达

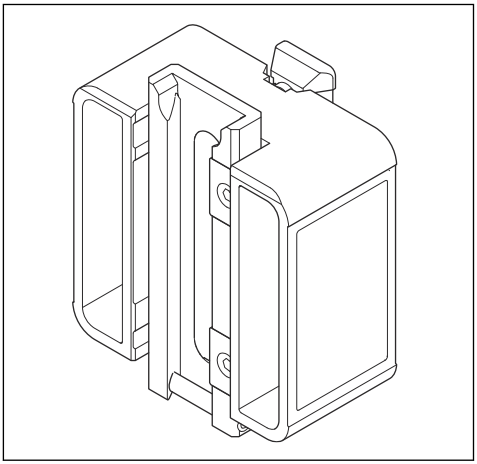
警告： 务必先从插座中拔出插头，然后再进行清洗、维护或组装。

1. 解锁电钻马达托架 (A)。
2. 将电钻马达安装在电钻马达托架上的轨道 (B) 中。
3. 锁定电钻马达托架 (A)。



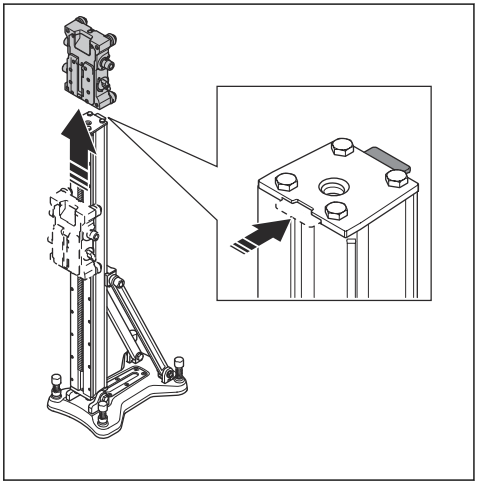
快速间隔片（附件）

使用快速间隔片可钻出较大的孔直径。要选择正确的快速间隔片，请参阅 *最大钻孔直径在第 36 页上*。在将电钻马达安装到电钻支架上之前，先将快速间隔片装配到电钻马达上。

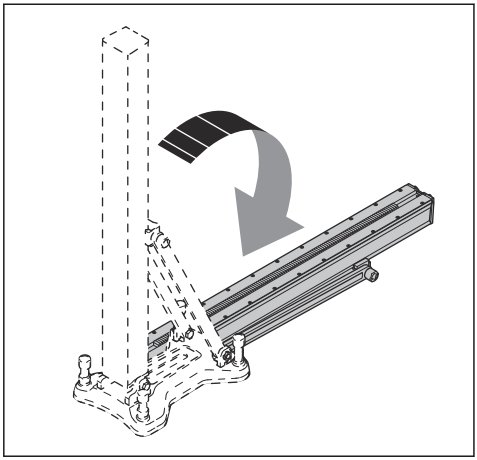


更换电钻支架柱（附件）

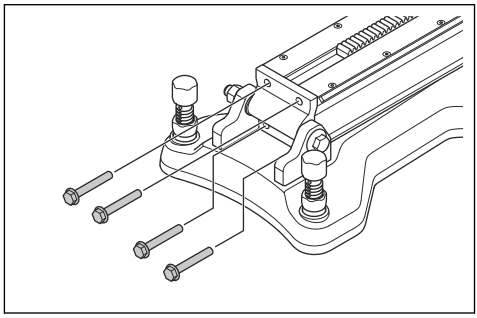
1. 将止动板推到打开位置。拆下电钻马达托架。



2. 将电钻支架柱完全向后折叠。请参阅 *调整钻柱的角度 在第 34 页上* 。



3. 从铰链支架上拆下 4 个螺丝。



4. 拆下电钻支架柱。
5. 按照相反的顺序安装电钻支架柱。

安装

安装步骤

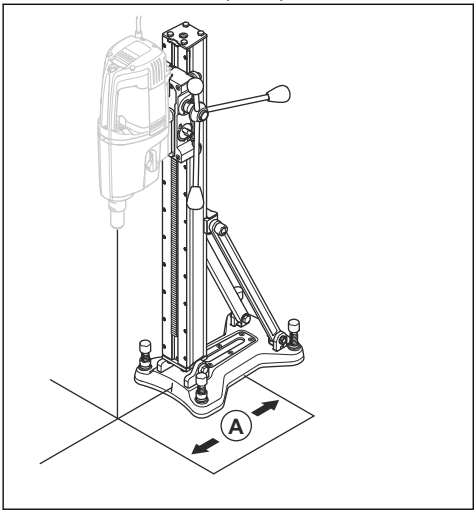
在电钻操作之前，有 3 种方法可用于安装本产品：

- 使用膨胀螺丝。
- 使用真空板。
- 使用全螺纹杆、垫圈和锁紧螺母。

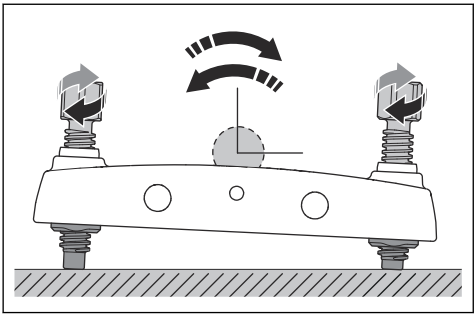
使用膨胀螺丝安装电钻支架

警告： 在天花板或墙上钻孔时，只能使用适合被拉伸表面的膨胀螺栓或锚栓。只能使用当前应用批准的膨胀螺栓或锚栓。

1. 为膨胀螺丝钻孔。请参阅 *安装膨胀螺丝在第 32 页上* 。自钻孔中心起测量出 335 毫米（13.2 英寸）的距离 (A)。如果您使用快速间隔片（附件），距离会更改。请参阅 *快速间隔片（附件）在第 30 页上* 。

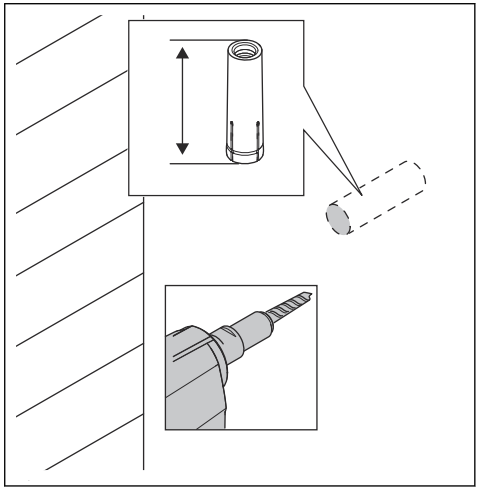


2. 使用膨胀螺丝安装底板。
3. 确保电钻支架正确上紧。
4. 如有必要，请调整底板。使用水平调整螺钉将底板调整到平面。

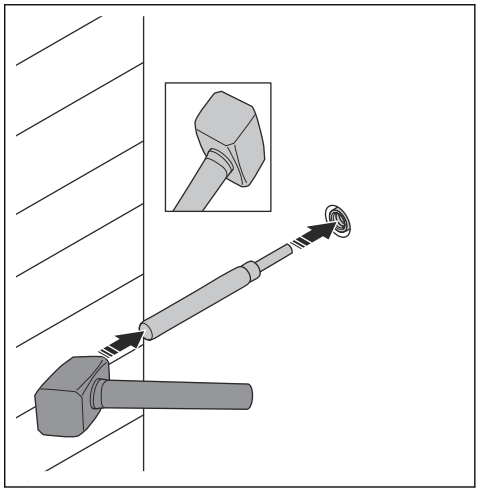


安装膨胀螺丝

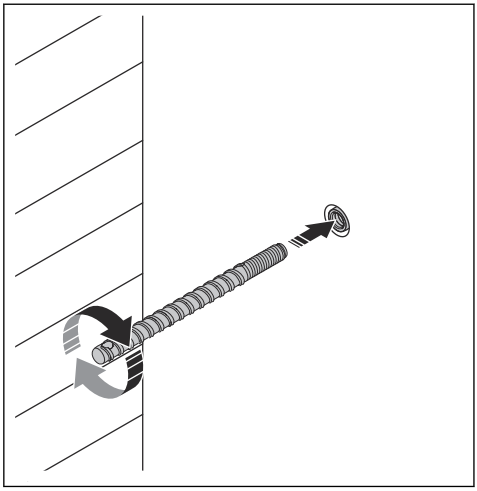
1. 为膨胀螺丝钻孔。确保深度足够。必须将插塞装入钻孔表面之下。



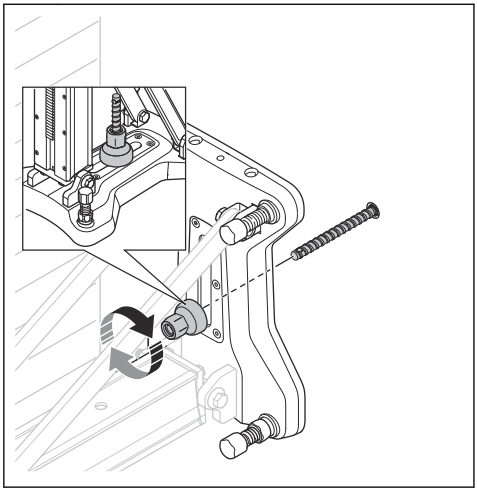
2. 使用芯棒和锤子安装膨胀螺丝。



3. 安装锚定螺丝。



4. 用螺母安装产品。



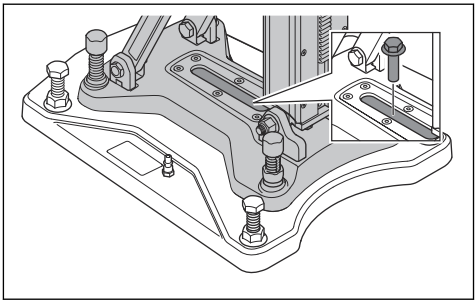
用 Husqvarna 真空板安装本产品

警告： 当您在墙壁或天花板上钻孔时，请勿将本产品与真空板一起使用。

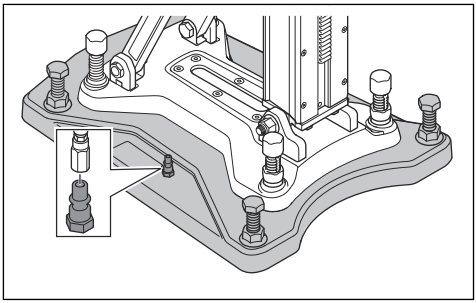
警告： 支撑面必须平整且质量良好。如果真空板无法完全密封到表面上，则本产品可能会松动。

警告： 建议仅将真空板与下面这些 Husqvarna 电钻马达一起使用：DM 220, DM 230, DM 280, DM 340, DM 400, DM 430。使用其他电钻马达可能会导致本产品松动。

1. 用螺栓将本产品安装到真空板上。



2. 松开水平调整螺钉。它们必须位于真空板底部上方。
3. 连接真空软管并启动泵。



小心： 为了将真空板紧密密封到表面上，最小压力必须为 -0.85 巴。

4. 上紧水平螺丝，直至感觉到螺丝上有压力。

警告： 使用真空板时，水平调整螺钉必须接触表面。否则，真空板可能会松动。

使用具有螺纹的杆安装电钻支架

如果无法使用膨胀螺丝将电钻支架安装到墙壁或天花板上，请使用全通杆。使用垫圈和螺母上紧全通杆。

操作

操作产品之前

警告： 本机的设计仅可用于对混凝土、砖块和各类不同石材进行钻孔。切勿用于其他用途。

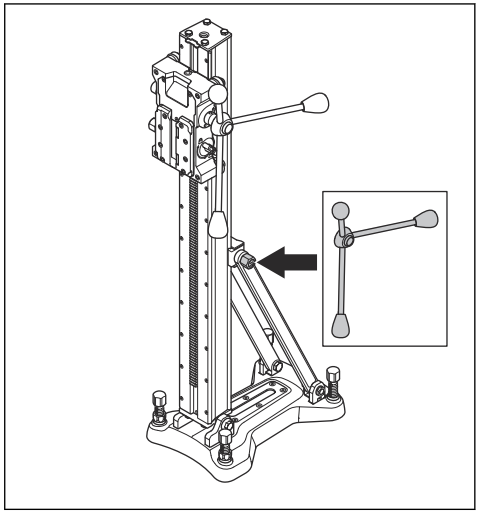
警告： 钻孔前，请检查并确保所有锁紧螺钉均已牢牢拧紧。动力钻机/电钻从地面、墙壁或天花板退回时，如果钻机里面仍含有混凝土芯，则可能会引发严重事故。

警告： 在对天花板进行钻孔时，请始终使用指定的动力钻机集水器，或使用液压动力钻机。如果有水漏入钻机中，则钻机和钻架会有带电的风险。

- 请认真阅读操作手册，确保您充分理解各项说明。
- 保持工作区域清洁明亮，以防发生事故。
- 执行日常维护。请参阅 *电钻支架的日常保养在第 34 页上* 。
- 使用个人防护装备。详情请参阅 *个人防护装备在第 29 页上* 。

调整钻柱的角度

1. 松开锁定钻柱的锁定螺丝，并设置适当的电钻角度。



2. 使用角度指示器进行近似调整。如果需要更高的精度，请使用其他方法进行测量。
3. 上紧钻柱的锁定螺丝。使用进给手柄。钻柱可倾斜 0-90°。

维护

简介

警告： 请仔细阅读和充分理解安全须知章节的内容，再对产品执行维护作业。

警告： 为防止伤害，请在进行维护之前先断开电源线。

电钻支架的日常保养

- 确保螺母和螺丝都已上紧。
- 清洁电钻支架的外表面。
- 确保进给手柄移动时没有阻力。
- 确保齿轮移动自如，并且不会产生噪音。
- 检查钻柱，查看是否有磨损或损坏。
- 确保电钻马达托架移动自如，并且钻柱上没有间隙。

清洁和润滑电钻支架

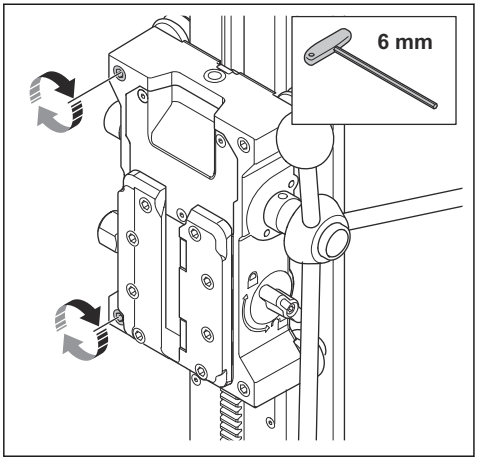
小心： 如果不清洁电钻支架，它可能会损坏。

1. 卸下电钻马达。
2. 用高压清洗机清洁电钻支架，然后用干布擦去残留的水。
3. 润滑电钻支架上的活动部件。将润滑脂涂抹到接触面上，以防止腐蚀。

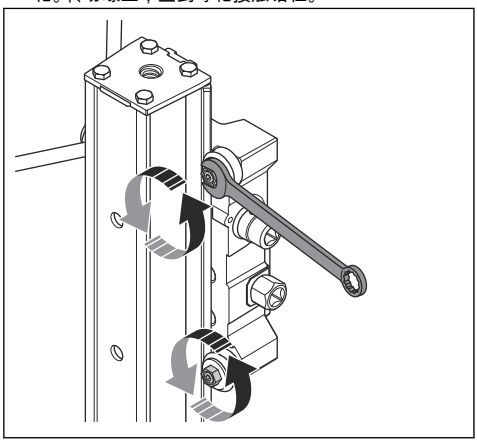
调整岩芯钻机托架

如果钻柱与岩芯钻机托架之间有间隙，则必须调整岩芯钻机托架。

1. 松开用于固定滚轮轴的螺丝。

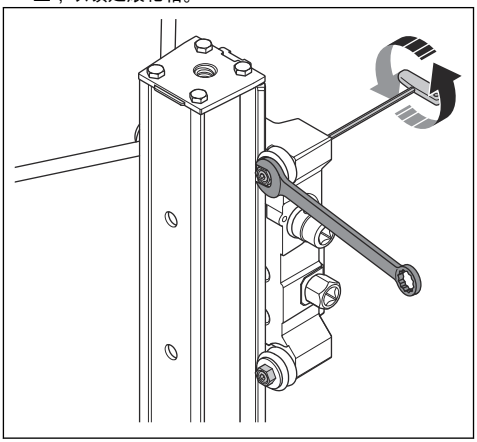


2. 调整滚轮轴。逆时针转动螺丝，以沿钻柱方向移动导轮。转动螺丝，直到导轮接触钻柱。



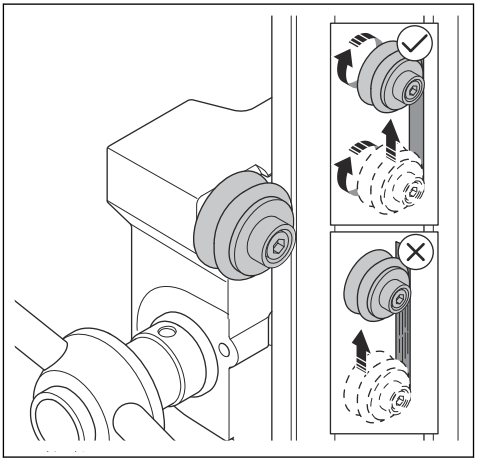
注意： 请勿将滚轮轴拧得过紧。确保岩芯钻机托架在钻柱上平稳移动。

3. 使用扳手锁定导轮的位置。使用内六角扳手拧紧螺丝，以锁定滚轮轴。



注意： 拧紧滚轮轴后，必须能够用进给手柄转动，但不能用手转动。

4. 使用进给手柄上下移动钻机托架。确保岩芯钻机托架在钻柱上平稳移动。当托架在钻柱上移动时，滚轮轴必须旋转。如有必要，请再次调整滚轮轴。



运输及存放

运输及存放

- 在运输过程中安全地固定本产品，以防止损坏和发生事故。
- 附件运输轮可用于运输装有电钻装置的支架。
- 如果没有运输轮，则运输过程中需要从支架上卸下电钻装置，因为总起重重量超过 25 公斤。
- 将产品放在上锁的区域，以防止儿童或他人擅自触碰。
- 请在干燥、无霜条件下存放钻机和支架。

技术参数

技术参数

尺寸	DS 500	DS 500 EX
高度，mm / in.	1050 / 41.3	1152 / 45.4
宽度，mm / in.	240 / 9.4	240 / 9.4
深度，mm / in	394 / 15.5	394 / 15.5
重量，kg / lbs	18.2 / 40.1	18.8 / 41.5
行程，mm / in	706 / 27.8	785 / 30.9
最大负载（手柄处），kg / lbs	120 / 264.5	120 / 264.5
钻柱角度	0-90º	0-90º

最大钻孔直径

动力钻机	垫块，mm / in.	
	无垫块	50 / 2
DM 200	150 / 5.9	150 / 5.9
DM 210 SP	150 / 5.9	150 / 5.9
DM 280/340	370 / 14.6	470 / 18.5
DM 400	370 / 14.6	470 / 18.5
DM 430	370 / 14.6	470 / 18.5
DM 700/650	400 / 15.7	500 /19.7

保养

获批准的服务中心

要查找离您最近的获得批准的 Husqvarna Construction Products 服务中心，请访问网站 www.husqvarnacp.com。

一致性声明

欧盟一致性声明

我们 **Husqvarna AB**（地址：SE-561 82 Huskvarna，
Sweden，电话：+46-36-146500）谨此声明，本产品：

描述	**钻架**
品牌	Husqvarna
类型/型号	DS 500, DS 500 EX
标识	2019 及以后的序列号

完全符合以下欧盟指令和法规的要求：

指令/法规	**描述**
2006/42/EC	“关于机械”

并适用以下协调标准和/或技术规格；

EN ISO 12100:2010

EN 12348:2000+A1:2009

EN 62841-3-6:2014+A11:2017

帕蒂勒市，2019-02-25



Erik Silfverberg

全球研发总监

混凝土锯和钻孔部门

Husqvarna AB，Construction 事业部

Husqvarna®

www.husqvarnaconstruction.com

取扱説明書原本
원본 설명서
原始说明

1141345-39



2026-09-15